

昭和52年度海外開発計画調査委託事業の実績報告書

昭和53年4月

国際協力事業団
鉱工業計画調査部

8 C



國際協力事業団		
受入 月日	54.6.25	L000.
届期	54.8.31	9862
登録No.	145618	RLP

52年度 海外開発計画調査プロジェクト別計画承認及び支出実績一覧表

技... 技術調査田派遣費
 7°... プロジェクト選定確認調査田派遣費
 技長... 技術調査田長期派遣費
 大... 大規模開発協力基礎調査田派遣費

予算	プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	業務完了期限	支出金額	返納額	目次
技	1 マラウイ共和国石炭開発計画事前調査	5,924,019	52年4月25日	52通第765号	52年6月15日	5,593,567	330,452	13
技	2 ケニア共和国エネルギー開発計画調査	41,106,834	52年10月27日 (52年6月21日)	52通第1449号 (52通第886号)	53年1月31日 (52年8月31日)	40,655,388	451,446	17
技	3 タンザニア連合共和国高性能ソーダ及びPVCプラント建設計画調査	32,920,255 (58,974,901)	53年3月24日 (52年6月2日)	53通第374号 (52通第887号)	53年1月31日	32,193,255	127,000	21
技	4 イラン帝国石油化学工業製品計画事前調査	2,656,894	52年6月8日	52通第911号	52年8月31日	2,599,746	57,148	25
技	5 エジプト国ヘルワン製鉄所改造計画調査	15,267,460	52年6月21日	52通第912号	52年11月30日	15,267,260	200	29
技	6 インドネシア共和国サダン川(カリバハ)水力発電開発計画調査	6,126,241	52年8月20日	52通第1055号	52年10月31日	5,922,128	204,113	33
技	7 チュニジア共和国電力開発計画調査	31,540,636	52年6月21日	52通第945号	52年10月31日	31,188,153	352,483	37
技	8 コロンビア共和国カウカ河渓流域石炭開発計画調査	21,460,282	52年7月11日	52通第965号	52年12月31日	20,446,478	1,013,804	41
技	9 エルサルバドル共和国金属機械工業開発計画調査	8,624,716	52年9月22日	52通第1150号	52年12月31日	8,328,683	296,033	45
技	10 フィリピン共和国一貫製鉄所建設計画 プレス・シビル	76,812,645	52年9月16日	52通第1151号	52年12月31日	76,632,505	180,140	49
技	11 タイ国東北部工業開発計画事前調査	4,859,716	52年10月24日	52通第1423号	53年1月31日	4,673,860	185,856	53
7°	12 アフリカ諸国鉄工業プロジェクト選定確認調査 No.1	4,452,020	52年10月27日 (52年6月18日)	52通第1420号 (52通第910号)	52年10月31日 (52年9月30日)	4,118,072	333,948	57
7°	13 東南アジアプロジェクト選定確認調査(フィリピン)	529,520	52年9月16日	52通第1365号	52年12月31日	256,762	272,758	61
7°	14 アフリカ諸国鉄工業プロジェクト選定確認調査 No.2	3,379,926	52年10月4日	52通第1421号	53年1月31日	2,577,356	802,570	65
技長	15 フィリピン共和国カガヤンバレイ地域配電計画調査	28,725,902	52年8月20日	52通第1023号	52年9月30日	28,577,135	148,767	69
技長	16 グアテマラ共和国地熱発電開発計画調査	7,431,263	52年8月5日	52通第1056号	52年11月30日	7,352,993	78,270	73
大	17 インドネシア共和国オンピリン石炭開発計画調査(事前)	5,581,586	52年7月12日	52通第1022号	52年9月30日	5,495,823	85,763	77
技	18 マレーシア国石油産業開発計画調査	97,077,522	53年3月6日 (52年6月21日)	53通第218号 (52通第888号)	53年3月31日 (53年2月28日)	96,064,756	1,012,766	81
技	19 スリランカ共和国合成繊維工場新設計画調査	20,084,915	52年12月29日 (52年7月4日)	52通第1905号 (52通第943号)	53年3月20日	19,886,790	198,125	86
技	20 マラウイ共和国ヌギアナ炭田開発計画調査	48,650,094	52年7月18日	52通第1054号	53年2月28日	47,100,216	1,549,878	90

予算		プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	業務完了期限	支出金額	返納額	回次
技	21	ジャタリカ共和国バンダソン河、バクアル河水力開発計画調査	61,372,493	52年8月5日	52通第1144号	53年3月31日	60,077,772	1,294,701	94
技	22	インドネシア共和国スマタラム石炭火力発電計画調査	57,097,719 (52,597,719)	53年3月24日 (52年9月21日)	53通第374号 (52通第1247号)	53年3月20日	56,247,208	850,511	100
技	23	イラン帝国石油化学工業製局計画調査	65,065,959 (62,400,959)	53年3月24日 (52年9月22日)	53通第374号 (52通第1964号)	53年3月20日	64,972,709	673,244	104
技	24	チュニジア共和国カセブ揚水発電開発計画調査	36,963,452	53年1月11日	52通第1914号	53年3月31日	35,819,255	1,144,197	109
技	25	フィリピン共和国バギオ地区鉱山排水公害調査前調査	9,190,049	52年12月6日	52通第1888号	53年3月31日	9,028,563	161,486	113
技	26	ネパール王国ウダイプールセメント工場建設計画調査	49,346,678	52年12月25日	52通第1945号	53年3月31日	47,728,184	1,618,494	117
技	27	ボリビア共和国ピラヤ川水系発電開発計画調査	17,218,624	53年1月13日	53通第93号	53年3月31日	15,981,535	1,237,089	122
技	28	フィリピン共和国バギオ地区鉱山公害防止計画調査	49,685,897	53年1月19日	53通第75号	53年3月31日	49,187,994	497,903	126
技	29	ウガンダ共和国キレンバ銅鉱山開発計画調査	37,550,269	53年1月24日	53通第85号	53年3月31日	35,759,584	1,790,705	130
技	30	インドネシア共和国 Aceh 尿素肥料工場新設計画調査	48,145,118	53年1月30日	53通第110号	53年3月31日	46,936,686	1,208,432	136
技	31	ケニア共和国木材加工業近代化計画調査	22,661,690	53年2月1日	53通第125号	53年2月1日	21,272,099	1,389,591	141
技	32	サウディ・アラビア王国海水淡水化技術協力事前調査	2,772,814	53年2月14日	53通第187号	53年3月31日	2,318,207	454,607	145
技	33	インドネシア共和国エネルギー・ターボ・ポンプ調査予備調査	6,044,204	53年2月23日	53通第186号	53年3月31日	5,806,007	238,197	149
技	34	タイ王国 Mae Moh 肥料工場修復計画調査	13,094,361	53年2月16日	53通第197号	53年3月31日	12,975,566	118,795	153
技	35	ハンガリー人民共和国自動車修理工場建設計画調査	24,418,427	53年2月16日	53通第200号	53年3月31日	23,883,411	535,016	157
技	36	オマーン国工業開発計画調査	23,169,764	53年2月16日	53通第199号	53年3月31日	22,971,142	198,622	161
技	37	ペルー共和国サンタ河電源開発計画調査	35,760,070	53年2月17日	53通第207号	53年3月31日	32,945,795	2,814,335	165
技	38	リベリア共和国セントジョン川水力開発計画予備調査	7,523,667	53年2月22日	53通第219号	53年3月31日	6,474,294	1,054,373	171
技	39	サウディ・アラビア王国石油化学工場建設計画調査	44,353,894	53年2月10日	53通第178号	53年3月31日	43,944,345	409,349	175
技	40	スリランカ共和国自由貿易地帯開発計画事前調査	3,354,578	53年3月13日	53通第341号	53年3月31日	3,207,370	147,208	179
ア	41	オマーン国鉱工業プロジェクト選定確認調査	646,925	52年10月25日	52通第1923号	53年2月28日	438,898	208,027	183
ア	42	パキスタン国教共和国鉱工業プロジェクト選定確認調査	1,162,754	53年3月13日	53通第341号	53年3月31日	981,111	181,643	187

予算		プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	業務完了期限	支出金額	返納額	頁次
技長	43	大韓民国水資源総合開発計画調査	77,065,782	52年10月5日	52通第1449号	53年3月31日	75,777,310	1,288,472	191
大	44	パプアニューギニアプラリ河電力開発計画調査	54,894,082	52年9月20日	52通第1121号	53年3月31日	51,564,927	5,329,155	197
大	45	インドネシア共和国 オンヒリン石炭開発計画調査	35,882,608	52年12月12日	52通第1844号	53年3月31日	33,669,265	2,222,343	201
大	46	ネパール王国ワカニ第2発電所建設計画及びカトマンズ 地区送配電網整備計画調査	90,987,682 (20,233,297)	53年3月24日 (52年11月15日)	53通第374号 (52通第1811号)	53年3月31日	90,074,353	897,329	206
		合 計	1,328,627,600				1,292,985,656	35,641,344	

委託事業実施経費区分別実績総括表

(四)

区 分	(1) 当初計画		(2) 第1回変更計画額		(3) 第2回変更計画額		(4) 実施計画承認額		(5) 支出実績額		(6) 残 額
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額 (4)-(5)
(1) 技術調査団派遣費	26	741,348,000	26	894,280,000	26	1,015,906,950	34	1,015,906,950	34	992,110,651	23,796,299
(2) 7口以上ト選定確認補助金派遣費	3	9,889,000	3	9,395,000	3	10,171,145	5	10,171,145	5	8,372,199	1,798,946
(3) 技術調査団長期派遣費	4	120,432,000	4	114,410,000	4	113,222,947	3	113,222,947	3	111,707,438	1,515,509
(4) 大規模開発協力基礎調査団派遣費	5	637,561,000	5	602,683,000	5	461,868,958	4	189,925,958	4	180,795,968	8,530,590
統 計	38	1,709,230,000	38	1,620,768,000	38	1,601,170,000	46	1,328,627,000	46	1,292,985,656	35,641,344

(円)

プロジェクト名	調査費	現地調査費	板金費	取寄材費	附帯費	計
① コスメリカ・バンソン 山河、パワア、河木カ 開盤	7,945,850 7,340,294	1,790,457 600,202	49,191,186 49,191,186	2,650,000 2,650,000	395,000 295,510	61,373,493 60,077,792 1,294,701
② インドネシア・アキット アサヒ石炭火力発電計 画	6,967,795 6,790,625	2,874,842 2,291,402	46,003,682 46,003,682	900,000 900,000	351,400 261,499	57,097,719 56,247,208 850,511
③ フライビン一製鉄所 建設 Re F/S	1,899,580 1,799,894	1,971,860 1,971,560	71,655,205 71,579,461	2,900,000 2,900,000	160,000 155,590	78,812,645 76,632,505 2,180
④ イラン石油化学工業製 造計画	11,520,755 10,982,929	1,532,926 1,425,375	49,902,272 49,902,272	1,790,000 1,790,000	520,000 292,133	65,065,953 64,392,709 673,244
⑤ タイ東北郡工業開発計 画 (事前)	1,725,630 1,697,664	623,827 622,527	21,252,59 21,252,59	150,000 150,000	235,000 72,410	48,997,16 48,798,60
⑥ チェニシ・カセラ橋水 恐懸開発計画	9,694,925 9,300,260	1,756,700 772,418	25,262,827 25,506,257	0 0	509,000 240,320	96,969,452 95,819,255 1,144,197
⑦ フライビン・バギオ地及鉱 山排水公害調査 (事前)	1,115,448 1,087,902	221,892 170,853	15,279,09 15,279,08	0 0	265,400 242,500	3,190,049 3,028,863 161,186
⑧ ネパールのサライポール セメント工場建設 (事前)	8,703,410 8,358,806	1,164,308 813,177	93,113,960 92,460,301	0 0	365,000 96,100	43,546,678 41,728,184 1,818,494
⑨ ホリガイ、ビシマ川水 系火力発電開発 (事前)	2,981,905 2,957,121	1,358,223 289,418	12,282,496 12,282,496	450,000 450,000	148,000 2,500	17,218,624 15,987,535 1,231,089
⑩ フライビン・バギオ地区 地震公害防止 (事前)	6,544,928 6,495,723	1,162,359 850,621	41,072,610 41,072,610	572,000 572,000	394,000 257,040	49,685,897 49,187,994 497,903
⑪ ウガンダ・キレンバ鉄鉱 山開発	13,250,519 12,398,566	1,998,529 1,139,695	22,178,221 22,172,583	0 0	123,000 48,720	37,550,269 35,769,564 1,780,705
⑫ インドネシア・アキ 素肥料工場建設	10,969,297 10,621,343	2,293,687 1,710,819	34,594,634 34,590,844	0 0	393,500 15,680	48,145,118 46,936,836 1,208,282

(円)

プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	技術費	業務作成費	附帯費	計
① ケニア木材加工業近代化計画	9,500,932 9,468,668	1,904,255 698,378	11,096,503 11,096,503	0 0	160,000 8,550	22,661,690 21,272,099 1,389,591
② カウチイ・マヒア海水淡水化技術協力(事前)	2,302,288 2,184,468	295,426 104,719	0 0	75,000 0	99,500 29,020	2,772,814 2,318,207 454,607
③ イントネシアエネルギーセンターバンブ計画(予備)	2,214,706 2,764,977	443,411 398,743	2,411,087 2,411,087	150,000 176,200	225,000 55,000	6,044,204 5,806,007 238,197
④ タイ・クモーン肥料工場修繕計画	5,169,688 5,150,433	426,885 426,025	7,377,788 7,377,788	0 0	120,000 21,320	13,094,361 12,975,566 118,795
⑤ バンブラッシュ自動車修繕工場建設	8,098,257 8,057,471	1,292,811 1,002,451	14,771,359 14,771,359	0 0	255,000 46,130	24,441,842 23,823,411 618,431
⑥ スマーン工業開発計画	8,638,640 8,573,640	2,542,153 2,497,213	11,819,971 11,819,971	0 0	169,000 7,978	23,169,764 22,971,142 198,622
⑦ パル・カソン河堤築開発計画	12,218,777 12,178,077	438,205 175,116	16,391,088 16,391,088	2,600,000 2,600,000	167,000 25,410	35,760,070 32,945,735 2,814,335
⑧ リバリア・セントジョン川水力開発計画(事前)	3,441,595 3,447,124	1,177,496 1,48,594	2,278,576 2,278,576	0 0	31,000 0	7,528,667 6,474,294 1,054,373
⑨ カウチイ石油化学工場建設	5,661,515 5,579,184	226,134 190,416	32,162,245 32,162,245	0 0	244,000 12,100	44,353,394 43,944,545 408,849
⑩ スリランカ自由貿易港開発(事前)	2,132,765 2,092,765	309,606 213,598	901,207 901,207	0 0	10,000 0	3,354,578 3,207,370 147,208
計	186,585,045 182,522,779	36,470,091 22,383,461	746,787,266 745,478,726	37,332,400 35,963,905	872,918 5,761,780	10,159,069,550 792,110,651 23,776,299

II プロジェクト選定確認調査西派遣費

(円)

プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	技術費	報告作成費	附帯費	計
⑬ アフリカ鉱工業 P/F (東アフリカ)	330,120 3,104,835	727,100 650,883	0 0	150,000 75,250	273,700 28,1354	4,457,020 4,180,72
⑭ 東南アジア P/F (タイヒン)	56,400 56,400	214,120 57,088	0 0	150,000 35,850	109,000 107,424	522,520 258,762
⑮ アフリカ鉱工業 P/F (西アフリカ)	2,299,100 2,234,953	618,526 174,873	0 0	150,000 0	312,300 167,530	2,379,926 2,577,356
⑯ オーストラリア工業 P/F	197,935 195,925	196,990 90,623	0 0	150,000 106,920	102,000 46,030	646,925 432,892
⑳ パースタン鉱工業 P/F	925,000 922,000	237,754 59,111	0 0	0 0	0 0	1,162,754 981,111
計	6,779,655 6,519,163	1,994,490 1,032,072	0 0	600,000 218,620	797,000 602,338	10,171,145 8,372,199

①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						
⑯						
⑰						
⑱						
⑲						
⑳						
㉑						
㉒						
㉓						
㉔						
㉕						
㉖						
㉗						
㉘						
㉙						
㉚						
㉛						
㉜						
㉝						
㉞						
㉟						
㊱						
㊲						
㊳						
㊴						
㊵						
㊶						
㊷						
㊸						
㊹						
㊺						
㊻						
㊼						
㊽						
㊾						
㊿						

III. 技術調査田長期次進費

(円)

プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	技術費	報告書作成費	附帯費	計
⑤ 7ヶリビヤ、カガヤン バレイ地帯調査計画	484600	111702	25569600	2375000	185000	28725902
	471176	37009	25569600	2375000	124350	28577135
						148787
⑥ プラマラ地帯調査計画	922700	258458	3450105	2550000	190000	7431263
	995456	200193	3450105	2550000	159239	7352793
						78270
⑦ 大環水資源総合調査計画	9616297	1582399	63576770	1643636	646680	77065782
	9151739	1581020	63426193	1643636	174722	75777310
						1288472
計	11083597	1952559	92596475	6568636	1021630	113222947
	10616371	1618222	92445898	6568636	458311	111707438
						1515509

技術調査田長期次進費

調査旅費

現地調査費

⑧	調査旅費	11083597	1952559	92596475	6568636	1021630	113222947
	調査旅費	10616371	1618222	92445898	6568636	458311	111707438
	現地調査費						1515509
⑨	調査旅費	484600	111702	25569600	2375000	185000	28725902
	調査旅費	471176	37009	25569600	2375000	124350	28577135
	現地調査費						148787
⑩	調査旅費	922700	258458	3450105	2550000	190000	7431263
	調査旅費	995456	200193	3450105	2550000	159239	7352793
	現地調査費						78270
⑪	調査旅費	9616297	1582399	63576770	1643636	646680	77065782
	調査旅費	9151739	1581020	63426193	1643636	174722	75777310
	現地調査費						1288472
計	調査旅費	11083597	1952559	92596475	6568636	1021630	113222947
	調査旅費	10616371	1618222	92445898	6568636	458311	111707438
	現地調査費						1515509

IV 大坂振興発協力基礎調査団派遣費

(円)

プロジェクト名	調査費	現地調査費	技術費	報告書作成費	附帯費	計
① インドネシア・オーストラリア 石炭開発計画 (事前)	2,736,760	336,130	2,423,496	0	85,000	5,521,586
② パプアニューギニア アラリ河電力開発計画	6,342,155	13,142,631	2,932,436	6,700,000	1,322,260	25,763
③ インドネシア・オーストラリア 石炭開発計画	7,634,593	11,207,624	16,700,331	0	332,000	35,882,608
④ 水パンプ・グリカニ第2 発電所建設及びカトマ ンズ地区送電	16,448,351	21,292,783	52,527,251	0	699,297	90,967,682
計	33,174,059	45,979,228	101,031,514	6,700,000	2,445,157	189,325,958
⑤ 計画 実績 差額	237,618,356	283,943,368	940,477,215	5,120,2036	12,993,025	1,328,627,000
計	230,839,725	65,051,095	938,911,567	49,818,912	8,364,297	1,292,985,656
差額	6,778,571	213,452,273	1,505,648	132,3124	462,728	35,641,344

(注) ① 第1行 計画 承認額
第2行 支出 実績額
第3行 差額 (正減額)

② No. 〇は第1次確定分
〇は第2次確定分

①	1,328,627,000	1,328,627,000	0	0	0	0
②	1,292,985,656	1,292,985,656	0	0	0	0
③	35,641,344	35,641,344	0	0	0	0
④	189,325,958	189,325,958	0	0	0	0
⑤	1,847,580,018	1,847,580,018	0	0	0	0

(4) 昭和52年度実施施設の種類、現地調査期間、コンサルト一覧表

項目 プロジェクト名	施設 の別	調査の種類			現地調査		調査業務契約者名
		事前 調査	実施 調査	図内 説明	人数	期間	
夜、マラウイ 石炭 事前	新規	○			4	4/6~5/9	直営
夜、ケニニア エリ	継続		○	○	(2)	(1/20~7/5)	日本工業立地センター(財)
夜、タンザニア 前住ロード	新規		○		10	5/10~7/5	直営 (三井東圧・石油化学 昭和重工 鶴岡製鐵)
夜、イラン 石油化学 事前		○			2	5/16~6/19	直営
夜、エジプト ヘルワン	継続		○	○	(5)	(3/2~3/17)	日本鉄鋼連盟(社)
夜、マレーシア 石油産業			○	○	(5) (6)	(4/27~7/5) (7/7~7/5)	日本オイル エンジニアリング(株)
夜、インドネシア サダン川			○	○	(2)	(7/5~8/2)	新日本技術コンサルト(株)
夜、チュニジア 電力			○	○	(4)	(3/10~3/22)	E.P.D.C インターナショナル(株)
夜、スリランカ 合鉄			○	○	(1)	(10/5~11/10)	日本プラント協会
夜、コロンビア カワカ河			○	○	(1)	(10/5~10/16)	海外石炭開発(株)
夜、エルサルバドル 金属機械			○	○	(1)	(11/10~1/20)	野村総合研究所(株)
夜、マラウイ スモミア炭田	新規		○	○	6 (1)	7/23~8/16 (1/4~1/27)	海外石炭開発(株)
夜、コスタリカ レベントン河			○	○	6 (1)	2/15~7/25 (2/24~2/5)	電源開発(株)
夜、インドネシア ゲケットアサム			○	○	7 (1)	7/25~10/22 (3/5~3/4)	電源開発(株)
夜、フィリピン 一貫製鉄 Pge	継続		○	○	(7)	(3/19~3/26)	日本鉄鋼連盟(社)
夜、イラン 石油化学	新規		○	○	10 (3)	7/27~11/10 (3/16~3/23)	エコインターナショナル
夜、タイ 東北部		○	○	○	4	10/23~11/5	直営(海外コンサルティアン企業協会)
夜、チニジア カセア			○	○	8	1/17~3/25	E.P.D.C インターナショナル(株)
夜、フィリピン バヤバラン 事前		○			3	7/10~7/25	直営
夜、ネパール ウグアイナルセント			○	○	10	1/5~2/23	小野田エンジニアリング(株)
夜、ボリビア ヒラヤ川			○	○	3	1/19~3/11	西日本技術開発(株)
夜、フィリピン バギオ製糖			○	○	12	1/25~2/27	阿中エンジニアリング(株)
夜、ウガンダ キレイバ湖			○	○	10	1/29~3/9	住友金属鉱山(株) 高野製糖(株)
夜、インドネシア イセル			○	○	14	3/25~3/28	日本プラント協会
夜、ケニア 木材			○	○	8	3/5~3/13	日本鉄鋼技術協会
夜、カウチイ 海水淡水化		○			3	3/23~3/25	直営
夜、インドネシア エリホーDB			○	○	6	7/25~7/27	直営 (日本エネルギー経済研究所 日本オイルエンジニアリング)
夜、タイ Mac Mode			○	○	8	3/19~3/18	三井東圧化学(株)
夜、バンブーラ 自動車修理			○	○	10	2/20~2/22	日本技術開発
夜、オランダ 工業			○	○	9	2/19~2/25	野村総合研究所(株)
夜、ペルー サンタ河			○	○	11	2/22~2/29	電源開発(株)
夜、リベリア セントジョン		○			3	2/20~2/20	アジア航運(株)
夜、サウヂイ 石油化学			○	○	8	2/15~2/22	三菱製鐵(株)
夜、スリランカ 自由貿易 事前		○			5	3/18~3/29	直営 (野村総合研究所 エコー)

項目 プロジェクト名	新規 継続 の別	調査の種類				現地調査		調査業契約者名
		事前 調査	実施 調査	国内 調査	説明 作成	人数	期間	
ア プロファイ アフリカ(東アフリカ)	新規	○			○	5	7/84 ~ 7/85	三菱
ア , 東アフリカ(アフリカ)	?	○			○	2	7/86 ~ 7/87	
ア , アフリカ(西アフリカ)	?	○			○	2	7/86 ~ 7/87	
ア , オマーン	?	○			○	1	7/86 ~ 7/87	
ア , パキスタン	?	○				3	7/86 ~ 7/87	
ア 東南 アフリカ カガマン 配電	継続		○	○	○	(22)	(7/84 ~ 7/87)	西日本技術開発(株)
ア 東南 アマテラ 地熱発電	?		○	○	○	(22)	7/86 ~ 7/87	大手開発(株)
ア 大韓民国 水資源総合	新規		○	○	○	9	7/86 ~ 7/87	日本工営(株) 彰源開発(株)
ア ハンガリー プラリ河	?		○	○	○	2	7/86 ~ 7/87	日本工営(株)
ア ニュージーランド	?		○	○	○	(5)	7/86 ~ 7/87	日本工営(株)
ア インドネシア オビリン様事前	?	○				5	7/84 ~ 7/86	直営(住友石炭・海外石炭)
ア インドネシア ホビリン石炭	?		○			8	7/86 ~ 7/87	住友石炭(株)
ア ネパール フリカ=第2	?		○	○		18	7/86 ~ 7/87	日本工営(株)

()は報告書説明

⊗ 社会開発部との共同調査

No. 52-1

計画申請	昭和52年4月25日国協(鉦計)第4-632号
計画承認	昭和52年4月25日 52通第765号
担当	資源調査課 氏名 長畑貞之

プロジェクト名 マラウイ共和国石炭開発計画事前調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規	技術調査用派遣費		事前調査	継続 本年度中

現地調査期間 自 昭和52年4月26日
至 昭和52年5月8日
調査業務完了日 昭和52年6月15日

総支出経費 5,597,567円

<p>(1) 調査目的</p> <p>マラウイ共和国政府の要請により、同国北部のNGANA炭田等を対象とする開発可能性調査に必要な資料を収集し、現地投入機関と本調査に関する打合せを行うことを目的とした。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>① 現地投入機関と本調査に関する打合せ及び投入体制の確認</p> <p>② 下記の資料収集</p> <p>(i) 最近の石炭調査資料</p> <p>(ii) NGANA 地域でのホーリング資料</p> <p>(iii) 現地の技術水準及び物産水準の確認</p> <p>(iv) 現地の陸上、水上輸送の諸施設に関する資料</p>	<p>(3) 調査結果</p> <p>日本から所収していた“Minutes of the meetings”に基づく調査内容及び便宜供与についてマラウイ 農業天然資源省と打合せを行い、調査団長及び農業天然資源省次官がサインの交換を行った。この覚書にもとづき7月に本調査団を派遣した。</p> <p>(4) コンサルタント名</p> <p>直営</p>
--	---

2. 調査日程

日	月	行 程	宿泊地	指 定 地 等 別		調 査 内 容
				日 当	宿 泊	
1	4/4	東京	機 甲	乙	/	
2	27	→ ロンドン	ロンドン	甲	甲	出発
3	28	ロンドン	機 甲	乙	-	
4	29	→ ナイロビ	ナイロビ	乙	乙	日本大使館、JICA、MMA、OECD との打合せ
5	30					
6	5/1	ナイロビ → フランシヤ	フランシヤ			海外青年協力隊と打合せ
7	2	フランシヤ → リロングエ	リロングエ			移動
8	3					農業天然資源省、地質調査所との打合せ
9	4	リロングエ → フランシヤ	フランシヤ			移動
10	5					地質調査所にて資料収集 農業天然資源省からminutesを入手
11	6	フランシヤ → ナイロビ	ナイロビ			日本大使館、JICA、MMA、OECD に結果報告
12	7					
13	8	ナイロビ → ロンドン	機 甲		/	帰 国
14	9	→ 東京			/	

(注) マラウィは在ケニア日本大使館に宿舎

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(i) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	変更 流用	変更 流用	実 績 額
I 調査旅費	4571,355	5,202	4576,557	4576,557
II 現地調査費	475,612	5,202	470,410	140,558
III 技術費	792,052	0	792,052	792,052
IV 報告書作成費	0	0	0	0
V 附帯費	85,000	0	85,000	244,000
合 計	5,924,019	0	5,924,019	5,593,567

(ii) 収支決算

費 用	金 額 (円)
総算受入額	5,924,019
支出総額	5,593,567
収支差引額	330,452

(ii) (i) の内訳

(単位：円)

区 分	計 画 額 (変更、流用を 含む金額)	実 績 額
	事業団直管分	事業団直管分
I 調査旅費	4571,355	4576,557
II 現地調査費	475,612	140,558
III 技術費	792,052	792,052
IV 報告書作成費	0	0
V 附帯費	85,000	844,000
合 計	5,924,019	5,593,567

4. 収支決算書目内訳

【調査旅費】

4576.557円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 交際料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤)(円)		
						地味	単価(円)	日数	計(円)	地味	単価(円)			日数	計(円)
1	青木正行 (総括地質)	1	14日 4/26-5/9	東京-札幌 953,000円	37,080円	甲	4200	1	4200	甲	12,700	1	12,700	3,568円	1,164,548
						乙	3300	13	42,400	乙	11,400	9	102,600		
						計		14	53,600	計		10	115,300		
2	橋本桂一郎 (探鉱)	1	14日 4/26-5/9	東京-札幌 953,000円	37,080円	甲	4200	1	4200	甲	12,700	1	12,700	3,678円	1,170,658
						乙	3800	13	49,100	乙	11,400	9	102,600		
						計		14	53,600	計		10	115,300		
3	妹尾信二郎 (政策)	4	14日 4/26-5/9	東京-札幌 953,000円	30,995円	甲	3500	1	3500	甲	10,900	1	10,900	1,117,8円	1,139,373
						乙	3200	15	41,600	乙	9,800	9	88,200		
						計		14	45,100	計		10	99,100		
4	長畑貞之 (業務調整)	5	14日 4/26-5/9	東京-札幌 953,000円	0円	甲	3500	1	3500	甲	10,900	1	10,900	4,778円	1,101,978
						乙	3200	13	41,600	乙	9,800	9	88,200		
						計		14	45,100	計		10	99,100		
計				3,812,000円	109,155円	197,400円			428,800円			29,202円	4,576,557円		

調査旅費
 青木正行
 橋本桂一郎
 妹尾信二郎
 長畑貞之

II 現地調査費

140,558円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		ケニヤシリング	77-4マ
外 車輦等借上費	6,142	Shs 180	
支 通 費	60,876	Shs 1784	
貨 通信運搬費	4,999	Shs 146.50	
分 会議費	44,579	Shs 873.10	K45-
交換手教料及差額	8,467		
計	125,063	Shs 2,983.60	K45-
内 事務用品	6,715		
貨 医薬品	8,780		
分 計	15,495		
合 計	140,558		

III 技術費

792,052円

(1) 直接人件費

現地調査

区分	単価(人日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
1(場)	25,100	23日/30日 × 12	1	269,406
				269,406

(1)の計

269,406

(2) 諸経費 269,406円 × 110% =

296,346

(3) 技術経費 (269,406円 + 296,346円) × 40% =

226,300

合計(1)~(3)

792,052円

IV 附帯費

84,400円

費目	金額(円)
会議費	52,200
その他	31,200
合計	84,400

No. 52-2

外務省経済協力司 工業調査課

プロジェクト名 ケニヤ共和国ニエリ工業地開発計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
継続	技術調査出張費		報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

計画申請	昭和52年5月19日	国協(整計)第5-409号
計画承認	昭和52年6月21日	52通第886号
計画変更承認	昭和52年10月27日	52通第1419号 (増徴)
担当	工業調査課	氏名 豊原 允文

現地報告期間 自昭和52年11月24日
至昭和52年12月3日

調査業務完了日 昭和53年1月31日

総支出経費 40,655,388円

(1) 調査目的

昭和51年度に実施した現地調査に基づき、国内設計作業を行い、報告書原稿を作成し、現地政府に対する説明セッションを派遣する。その後、英文、和文の報告書を印刷し、英文報告書を送付する。

(2) 調査内容

1. 工業地開発の基本計画の作成
2. 用地計画のアセスメント
3. 工業地地の管理・運営方式に関する提言
4. 経済的評価
5. 工業地地を核とした、Rural Industrial Program のマスタープランの検討

(3) 調査結果

1. ニエリ工業地開発計画の政策的背景とその目的は、極めて妥当なものと判断され、従来の経験体系から得られた教訓を吸収し、ニエリ地域における工業開発プログラムを実践する基本的な指針を提示した。
2. 工業地地計画は、他地区に配置される関連事業との関連性を確保し、次の成長過程を促進する役割を持つことが重要である。
3. ニエリ地域は、経済社会的諸条件からも小規模工業開発に対する十分な可能性を有する地域である。
4. 事業内容は以下のようなものによって構成される。
 - ① ニエリ市における工業地地の建設・運営、② ニエリナシユキ、ニヤフルル、ムランガにおける R.I.D.C. の建設・運営、③ カツリナにおける Industrial Promotion Area の建設・運営 ④ ニエリを中心とした一時的、継続的な小規模工業育成プログラムの完成。
5. 成立可能な工業プロジェクトを30種うち標準工場建屋導入可能なものを17種選定した。
6. 事業全体の基本方針、運営組織を提言した。
7. 収益性を含めた運営管理費用軽減の方策を検討した。

(2) コンサルタント名 財団法人日本工業地センター

2. 調査日程

日順月日	行 程	宿 泊 地	期 間 特 別		調 査 内 容
			日 当	日 当	
1 1/24	BA 945 BA 060	機 中	乙		
2 25	TIRC	ナイロビ		乙	
3 26					日本大使館、JICA事務所打合せ
4 27					
5 28					大蔵企画省 商工相 表紙及び
6 29					報告書説明
7 30					
8 1/1	BA 010	ロンドン	甲	甲	
9 2		ブライセル			
10 3	SN 261 (日航外の経路変更)	機 中			
11 4	帰 国				

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	1,934,400	1,573,184
II 現地調査費	89,284	26,742
III 技術費	35,819,650	35,819,650
IV 報告書作成費	2,978,000	2,978,000
V 附帯費	285,500	255,312
合 計	41,106,834	40,655,388

(ロ) 収支決算

費 用	金 額 (円)
総算没入額	41,106,834
支出総額	40,655,388
収支差引額	451,446

(イ) (1) の内訳

(単位：円)

区 分	計 画 額 (収支流用がある場合は2カ所)		実 績 額	
	事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	1,934,400	0	1,573,184
II 現地調査費	0	89,284	2,300	26,742
III 技術費	0	35,819,650	0	35,819,650
IV 報告書作成費	0	2,978,000	0	2,978,000
V 附帯費	285,500	0	255,312	0
合 計	285,500	40,821,334	257,812	40,397,576

4. 収支決算費目内訳

1 調査旅費

1573184円

No.	氏名 (担当)	係付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃		② 支度料		③ 日当			④ (宿泊)料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)
				往復	金額 (円)	往復	金額 (円)	地域	単価 (円)	日数	計 (円)	地域	単価 (円)		
1	飯島 貞三 (総括(政策部門))	/	10日 11/24~12/3	東京-大阪 往復 2等 256,200円	0円	2	3,800	10	38,000	2	11,400	8	91,200	1,192円	786,592
2	紺野 昭 (総務部(技術部))	/	10日 11/24~12/3	東京-大阪 往復 2等 256,200円	0円	2	3,800	10	38,000	2	11,400	8	91,200	1,192円	786,592
計				1,312,400円	0円				76,000円				182,400円	2,384円	1,573,184

* 日当・宿泊については契約書に従い、Zで支出

経費	(円)	1,312,400
減額	(円)	0
合計	(円)	1,312,400

経費	(円)	1,312,400
減額	(円)	0
合計	(円)	1,312,400

II 現地調査費

29,242 円

費目	円貨額(円)	米トドル	現地通貨
車輜等備上費	12,366		415.40
会議費	11,828		394.35
雑費	2,500		
交換手数料及差損	2,548	(2.47)	2.60
計	29,242		814.80

III 技術費

35,819,650 円

(1) 直接人件費

① 国内設計作業

区分 格付	単価(円) (円)	人月 (人月)	金額(円)
1号	26,800	23H x 5.1	3,143,600
2号	25,000	23H x 7.2	4,140,000
3号	21,600	23H x 5.8	2,881,000
4号	17,200	23H x 5.7	2,254,920
5号	13,700	23H x 2.5	987,750
6号	7,600	23H x 4.0	887,200
計		30.3	14,097,950

② 現地報告書説明

区分 格付	単価(円) (円)	日数 (日)	人	金額(円)
1	26,800	23H / 30H x 10	2	410,933
計				410,933

(1) の計 (① + ②)

14,501,883

(2) 諸経費

14,501,883円 x 90% =

13,051,694

(3) 技術経費

(14,501,883円 + 13,051,694円) x 90% =

28,266,073

合計 (1) ~ (3)

35,819,650 円

IV 報告書作成費

2,978,000 円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	1,378,000
印刷製本費	1,600,000
合計	2,978,000

V 附帯費

255,912 円

費目	金額(円)
交通費	20,220
会議費	145,992
国内旅費	49,700
その他	39,400
合計	255,912

No. 52-3

大蔵省蔵文書館

大蔵省蔵文書館

プロジェクト名 タンザニア連合共和国荷性ソーダ及びPVCプラント建設計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規	技術調査	派遣費	現地調査	今月中完了
			国内設計作業	
			報告書印刷	

計画申請	昭和52年5月25日 国協(飲料)第5-1024号
計画承認	昭和52年6月2日 52通第887号
計画変更承認	昭和52年3月24日 53通第374号
担当	工業調査課 氏名 関 栄一

現地調査期間

自 昭和52年6月10日
至 昭和52年7月3日

調査業務完了日

昭和53年1月31日

総支払経費

32,793,255円

(1) 調査目的

タンザニア連合共和国政府は、かねてより第2次国債案件として、荷性ソーダ及びPVC(塩化ビニル)プラント建設を要請が申し越していたが、今回本件につき現地に調査団を派遣し、フュージビリティ調査を行うことを目的に実施した。

以下の通り、調査結果はフュージビリティが認められなかったため、相手国政府にレポートを提出することはとりやめ、報告書は和文のみ作成した。

(2) 調査内容

両プロジェクト共以下の内容による調査を実施

- ① 両プロジェクトをめぐり両国の現況
- ② 需要調査
- ③ 原材料事情
- ④ 生産プロセス、プラント建設
- ⑤ インフラストラクチャーとコージェネリティ
- ⑥ 経済効果

(3) 調査結果

両プロジェクトとも主として、以下の理由により現時点においてはフュージビリティが認めがたいとの結論を得た。

① 荷性ソーダについて

① クラジト規模が小さすぎる。(需要が少ない)

② 併産される塩素の用途がない。

③ 操業指導に長期を要する。

2) PVCについて

① プラント規模が小さすぎる。

② 塩化ビニルモノマーをホルマーに重合するだけでは付加価値が期待できない。

等の理由により現在の所製品輸入価格を大巾に上回ることが予想され、フュージビリティが認め難い。

(4) コンサルタント名

直営(国内作業については一応契約書は締結)

2. 調査日程

日順	月日	行程	宿泊地	船中	船外	調査内容
1	6/10	東京発 LH 653	機中	Z	/	
2	11	フランクフルト着 フランクフルト発	機中	甲	/	
3	12	グロースグラーフ	ホテル	Z	Z	日本大使館書記官と打合せ
4	13			Z	Z	日本大使館打合せ カウンターパート よりヒアリング
5	14			Z	Z	かたがは打合せ JETRO 事務所訪問
6	15			Z	Z	プラント建設予定地調査
7	16			Z	Z	NDC 表敬打合せ、工業省大アジ
8	17			Z	Z	現地企業訪問
9	18			Z	Z	工業省表敬、打合せ、資料収集
10	19			Z	Z	資料整理、国内打合せ
11	20			Z	Z	大蔵省表敬、塩田調査
12	21			Z	Z	日系進出企業、現地企業訪問
13	22			Z	Z	水資源省、JETRO 訪問
14	23			Z	Z	専売公社、国土省訪問
15	24			Z	Z	NDC 訪問、プロファイルと打合せ
16	25			Z	Z	水資源省訪問、工場建設予定地調査
17	26			Z	Z	工場建設予定地海上調査
18	27			Z	Z	水資源省訪問、プロファイルと打合せ
19	28			Z	Z	中間報告書作成
20	19			Z	Z	国内打合せ、大蔵省へ中間報告書提出
21	30			Z	Z	大使館報告及び打合せ
22	7/1	フランクフルト発 BA 996	機中	Z	Z	
23	2	ロンドン着、ロンドン発 BA 610		甲	/	
24	3	東京着		Z	/	

(22)

3. 調査業務収支決算概括表

(1) 収支決算概括表

(A) 支出

(単位:円)

区分	計画額	変更額	実績額	実績額
I 調査旅費	14,514,460		11,735,750	11,608,750
II 現地調査費	1,660,777	△ 28,988	1,965,970	1,965,020
III 技術費	5,793,444		17,142,677	17,142,677
IV 報告書作成費	4,400,000		228,400	228,400
V 附帯費	420,000	38,388	448,388	448,388
合計	58,974,901	0	32,920,255	32,779,255

(B) 収支決算

費用	金額(円)
総算受入額	58,974,901
計画変更承認額	32,920,255
支出総額	32,779,255
収支差引額	127,000

(1) (1) の内訳

(単位:円)

区分	計画額(経費削減効果)		実績額	
	経費削減額	削減効果	経費削減額	削減効果
I 調査旅費	11,735,750	0	11,608,750	0
II 現地調査費	1,965,020	0	1,965,020	0
III 技術費	8,507,865	10,634,832	8,507,865	10,634,832
IV 報告書作成費	228,400	0	228,400	0
V 附帯費	448,388	0	448,388	0
合計	22,285,423	10,634,832	22,158,423	10,634,832

コンサルタント名 直営(三井物産、日産化学、昭和興業、岩見昌隆)

4. 収支決算費目内訳

1 調査旅費 11,608,750円

No.	氏名 (担当)	招待 (名)	旅費期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	田中 清穂 (総括 PVCプラント建設)	1	24日 6/10~7/3	東京-ダロスサラ合往復 (エコノミー) 798,400円	78,160円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	7,654円	1,192,814
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
2	杉浦 裕彦 (PVC 樹脂加工)	3	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	66,030円	甲	3,500	2	7,000	乙	9,800	19	186,200	10,364円	1,139,394
						乙	3,200	22	70,400				186,200		
							計	24	77,400		計		186,200		
3	松井 泉明 (PVC 製造プロセス)	2	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	70,070円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	10,024円	1,187,094
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
4	金指 光洋 (PVC 需要及び経済効果)	2	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	70,070円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	14,454円	1,191,524
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
5	青木 一輝 (苛性ソーダ 需要及び経済効果)	2	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	70,070円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	4,064円	1,181,134
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
6	金沢 睦雄 (苛性ソーダ 製造プロセス)	2	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	70,070円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	5,544円	1,182,634
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
7	久保山 純 (苛性ソーダ プラント建設)	3	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	66,030円	甲	3,500	2	7,000	乙	9,800	19	186,200	15,364円	1,143,394
						乙	3,200	22	70,400				186,200		
							計	24	77,400		計		186,200		
8	内川 幹敏 (苛性ソーダ 生産技術)	4	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	61,990円	甲	3,500	2	7,000	乙	9,800	19	186,200	15,364円	1,139,354
						乙	3,200	22	70,400				186,200		
							計	24	77,400		計		186,200		
9	大神 福男 (調査企画)	2	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	70,070円	甲	4,200	2	8,400	乙	11,400	19	216,600	9,974円	1,187,044
						乙	3,800	22	83,600				216,600		
							計	24	92,000		計		216,600		
10	関 栄一 (業務調整)	5	24日 6/10~7/3	東京-" 798,400円	0円	甲	3,500	2	7,000	乙	9,800	19	186,200	3,364円	1,065,364
						乙	3,200	22	70,400				186,200		
							計	24	77,400		計		186,200		
	計			7,984,000円	622,560円				861,600円				2,044,400円	96,190円	11,608,750円

II 現地調査費 1,365,020円

費目	円貨額 (円)	現地通貨
		タンザニアシリング
外貨分		
車輦等借上費	933,980	27,470
資機材等購入費	74,800	2,200
会議費	220,942	6,498
雑費	105,400	3,100
交換手数料及差損	18,938	
計	1,354,060	39,268
円貨分		
資機材機料	2,000	
事務用品	4,880	
医薬品	4,080	
計	10,960	
合計	1,365,020	

III 技術費 1914,269円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
1(号)	26,800	23日/30日×24	1	493,120
2	25,000	23日/30日×24	4	1,840,000
3	21,600	23日/30日×24	2	794,880
4	17,200	23日/30日×24	1	316,480
計			8	3,444,480

② 国内設計作業

区分	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金額(円)
1(号)	26,800	23日×1.0	416,400
2	25,000	23日×4.0	2,300,000
3	21,600	23日×2.0	993,600
4	17,200	23日×1.0	395,600
計		8.0	4,305,600

V) 計(①+②) 7,750,080

(2) 諸経費 7,750,080円×90%= 6,975,072

(3) 技術経費(7,750,080円+6,975,072円)×30%= 4,417,545

合計(1)~(3)) 19,142,697円

IV 報告書作成費 228,400円

費目	金額(円)
印刷製本費	228,400

V 附帯費 448,988円

費目	金額(円)
交通費	9,980
会議費	421,728
その他	16,680
合計	448,988

NO. 52 - 4

計画申請	昭和52年 6月 4日国協(総計)第6-161号
計画承認	昭和52年 6月 8日 52通 第911号
担当	工業調査課 氏名内藤久敏

プロジェクト名 イラン帝国石油化学工業製品計画調査(事前)

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
新規	技術調査団派遣費	事前調査(第1次)	継続 本年度中

現地調査期間

自 昭和52年 6月16日
至 昭和52年 6月29日

調査業務完了日

昭和52年 8月31日

総支出経費

2,599,746円

(1) 調査目的

イラン国におけるエチレンプラントが完成した後の二次加工工場計画が決定されつつあり、同製品の国内供給調査及び下流産業育成策についての協力を我国に要請してきたものである。

本調査の目的はNPCとT/R の詰めを行い、イラン側の要請を確認することである。

(2) 調査内容

- ・本件調査項目に関してイラン側との討議及び合意
- ・関連資料の収集
- ・関連工業の現状調査
- ・我国の技術協力制度の総合的説明

(3) 調査結果

(1) イラン側との打合せの結果昭和52年6月28日付で、イラン国NPC (National Petrochemical Company) 総裁との間に Minutes of Discussions に調印をみた。同 minutes 付属の主な内容は次のとおり

<調査すべき内容>

- (1) イランにおける石油化学製品の現状
- (2) イランにおける石油化学製品の需要予測
- (3) プラスチック、合成ゴムを主とする下流産業の開発マスタープラン
- (4) 上記 Minutes of Discussions の合意に基づき、本年度本調査が行われ、現地調査(9/27~11/10)を経て、報告書作成のため、現在国内作業中である。

(4) コンサルタント名 直営

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	格別之地務 目録		調 査 内 容
				格別	地務	
1	4/16	東京発 PA001 19:30	機 中	乙	/	
2	17	テヘラン着 09:30	テヘラン	"	乙	IJPC関係者と打合せ
3	18		"	"	"	NPC、大使館表敬打合せ
4	19		"	"	"	NPCと調査項目討議
5	20		"	"	"	NIDC, IRNIP 訪問打合せ
6	21	テヘラン発→アバダン着IR403	アバダン	"	"	NIDC 研究所視察
7	22	アバダン⇄バンダレシマプール	"	"	"	APC, IRNIP工場視察, IJPC奥設視察
8	23	アバダン→シラス IR219	シラス	"	"	アワズ農業地帯視察
9	24	シラス→テヘラン IR422	テヘラン	"	"	Azmayashkar 視察
10	25		"	"	"	NPCと調査項目打合せ
11	26	テヘラン⇄カラジ(車)	"	"	"	Polika Plastiran工場視察
12	27		"	"	"	NPCにて調査項目とりまとめ
13	28	テヘラン発 PA002 23:00	機 中	"	/	NPC調査項目合意確認 大使館報告
14	29	香港着 17:00	香 港	"	乙	
15	30	香港発 08:30 CX450 東京着 15:00	—	"	/	

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	流 用 額	流 用 後 額	実 績 額
I 調査旅費	1,507,115	12,144	1,519,259	1,519,259
II 現地調査費	284,276	△ 12,144	272,132	215,304
III 技術費	710,503		710,503	710,503
IV 報告書作成費	0		0	0
V 附帯費	155,000		155,000	154,680
合 計	2,656,894	0	2,656,894	2,599,746

(2) 収支決算

費 用	金 額(円)
概算受入額	2,656,894
支出総額	2,599,746
収支差引額	57,148

(1) (1)の内訳

(単位:円)

区 分	実 績 額	
	計 画 額 (後更、流用ありの場合)	事業団直営分
I 調査旅費	1,519,259	1,519,259
II 現地調査費	272,132	215,304
III 技術費	710,503	710,503
IV 報告書作成費	0	0
V 附帯費	155,000	154,680
合 計	2,656,894	2,599,746

コンサルタント名 監監

4. 収支決算費目内訳

工調査旅費

1,519,259円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空費	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	長沢 幸敏 (事前調査)	2	15日 6/16~6/30	東京→テヘラン→アバダン ↓ 香港→シラス 527,900円	35,035円	乙	3,800	15	57,000	乙	11,400	12	136,800	872円	757,607
2	千野 武司 (")	1	15日 6/16~6/30	東京 - " - 527,900円	39,080円	乙	3,800	15	57,000	乙	11,400	12	136,800	872円	761,652
計				1,055,800円	74,115円	114,000円			273,600円			1,744円	1,519,259		

費用内訳

(円) 額	内 訳
527,900	航空費
35,035	支度料
57,000	日当
136,800	宿泊料
872	雑費
1,055,800	計

Ⅱ 現地調査費 215,304円

費目	円貨額(円)	米ドル	現地通貨
			RLS
外貨 車輜等借上費	83,750		21,600
通信運搬費	23,244	8.50	
資機材等購入費	17,535		4,520
会議費	99,895		25,750
交換手数料確保	5,480		
計	208,984	8.50	51,870
内貨 事務用品	4,020		
医薬品	2,300		
計	6,320		
合計	215,304		

Ⅲ 技術費 710,503円

(1) 直接人件費

現地調査

区分	単価(人・日)	日数(日)	人	金額
格付(号)	26,800	23日/30日×14	1	287,653
計				287,653

(1) の計

287,653

(2) 諸経費 287,653円×90%=

258,888

(3) 技術経費 (287,653円 + 258,888円) × 30% =

163,962

合計(1)~(3))

710,503円

Ⅳ 附帯費 154,680円

費目	金額(円)
交通費	4,520
会議費	144,700
その他	5,460
合計	154,680

No. 52-5

本邦の鉄鋼業の発展を
 促進するに資する

計画申請	昭和52年 6月 3日国協(鉄計)第6-75号
計画承認	昭和52年 6月 21日 52通第912号
担当	工業調査課 氏名 小久保 寿一

プロジェクト名 エジプト国ヘルワン製鉄所改造計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続	技術調査圧延費	報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

現地報告期間	自 昭和52年 8月 8日 至 昭和52年 8月 17日
調査業務完了日	昭和52年 11月 30日
総支出経費	15,267,260円

<p>(1) 調査目的</p> <p>昭和51年度に実施した現地調査及び報告書の原稿作成に基づき報告書原稿の検討、報告書の翻訳、印刷を行なってエジプト国へ提出する。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>報告書の作成</p> <p>製鉄部門 製鋼部門 圧延部門 附帯部門</p> <p>(3) 調査結果</p> <p>対象プラントの全般的問題点として</p> <p>(i) 生産量は設計能力の1/2以下である。 (ii) 設備の保全不良、作業管理不良 (iii) 作業用資材、予備品不足</p> <p>があげられ、改造計画を提案した。</p>	<p>これを実行することにより</p> <p>出鉄能力は、394千トン/年(現状 240千トン/年) 製鋼能力は、375 " (現状 165 ") 圧延能力は 280 " (現状 115 ")</p> <p>が可能となる。</p> <p>設備改善費用は約5千万USドル、I期は発注後3ヶ月と見込まれる。</p> <p>(4) コンサルタント名 社団法人 日本鉄鋼連盟</p>
--	---

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿 泊 地	指 甲 之 外 例		調 査 内 容
				日 当	宿 泊	
1	8/8	東京発 11:20 JAL 477	機 中	乙	/	
2	9	カイロ着 01:25	カイロ	"	乙	午後 日本大使館説明
3	10	カイロ	"	"	"	ヘルワン製鉄所報告書説明
4	11	"	"	"	"	"
5	12	"	"	"	"	国内打合せ
6	13	"	"	"	"	ヘルワン製鉄所報告書説明
7	14	"	"	"	"	"
8	15	"	"	"	"	経済協力省工業化公社報告
9	16	カイロ発 18:20 JAL 472	機 中	"	/	日本大使館報告
10	17	東京着 21:50	—	"	/	

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(i) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	3,596,000	3,596,000
II 現地調査費	93,930	93,930
III 技術費	9,767,530	9,767,530
IV 報告書作成費	1,600,000	1,600,000
V 附帯費	210,000	209,800
合 計	15,267,460	15,267,260

(ii) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	15,267,460
支出総額	15,267,260
収支差引額	200

(iii) (i)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(変更流用ある場合は0)		実 績 額	
	事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	3,596,000	0	3,596,000
II 現地調査費	0	93,930	0	93,930
III 技術費	0	9,767,530	0	9,767,530
IV 報告書作成費	0	1,600,000	0	1,600,000
V 附帯費	210,000	0	209,800	0
合 計	210,000	15,057,460	209,800	15,057,460

コンサルタント名 社団法人 日本鉄鋼連盟

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

3,596,000円

No	氏名 (担当)	格付 (客)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤)円		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	杉田 清 (団長 総括)	1	10日 8/8~8/17	東京-カイロ XII(7P+2ト9ス) 84,9800円	0円	乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	7	79,800	0円	967,600
2	飯下 孝 (製鉄)	1	10日 8/8~8/17	東京-カイロ 543,600円	0円	乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	7	79,800	0円	661,400
3	西面 好明 (製鋼)	3	10日 8/8~8/17	東京- 543,600円	0円	乙	3,200	10	32,000	乙	9,800	7	68,600	0円	644,200
4	南 久雄 (圧延)	2	10日 8/8~8/17	東京- 543,600円	0円	乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	7	79,800	0円	661,400
5	北原 隆志 (付帯)	2	10日 8/8~8/17	東京- 543,600円	0円	乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	7	79,800	0円	661,400
計				3,024,200円	0円	184,000円			387,800円			0円	3,596,000円		

Ⅱ 現地調査費 93,930円 円
1円=386.01

費目	円貨額(円)	現地通貨
		イシツボンド
外貨 車輦等借上費	8,106.2	210
現地報告書作成費	13,317	345
交換手数料及差損	799 193	0.50
分計	(95,371)	1,441円(3,412円) 245.0
	93,930	

⑧ 現地報告書説明

区分 格付	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
1 (号)	26,800	23日/30日× ¹⁰ / ₃₀	1	205,466
2	25,000	23日/30日× ¹⁰ / ₃₀	3	575,000
3	21,600	23日/30日× ¹⁰ / ₃₀	1	165,600
計			5	946,066

Ⅲ 技術費 9,767,530円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分 格付	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金額(円)
1 号	26,800	23日×1.0	616,400
2 号	25,000	23日×2.0	1,150,000
3 号	21,600	23日×2.5	1,242,000
計		5.5	3,008,400

(1) の計(④+⑧)

3,954,466

(2) 諸経費 3,954,466円×90%=

3,559,019

(3) 技術経費 (3,954,466円+3,559,019円)×30%=

2,254,045

合計(1)~(3))

9,767,530円

Ⅳ 1,600,000円

費目	金額(円)
印刷製本費	1,600,000

Ⅴ 附帯費 209,800円

費目	金額(円)
交通費	8,680
会議費	30,500
その他	170,620
合計	209,800

NO. 52 - 6

計画申請	昭和52年 7月 7日 国協(鉦計)第7-283号
計画承認	昭和52年 8月 20日 52通第1055号
担当	資源調査課 氏名 末森 満

プロジェクト名 インドネシア共和国サダシ川バカル水力発電所計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続 3年度目	技術調査団派遣費	報告書説明 報告書印刷	今回で完了

現地報告期間 自 昭和52年 9月 5日
至 昭和52年 9月 16日
調査業務完了日 昭和52年 10月 31日

総支出経費 5,922,284円

(1) 調査目的

昭和50, 51年度に実施した現地調査結果及び収集資料に基づき、国内解析作業を行い報告書(ドラフト)まで前年度に完了し、昭和52年度は、報告書の内容をインドネシア共和国政府に説明し、その後、印刷し同国政府に送付するものである。

(2) 調査内容

1. インドネシア共和国政府、報告書説明
2. 報告書印刷
3. インドネシア共和国政府に報告書送付

(3) 調査結果

調査検討の結果、バカル計画地点の地形、水文、地質条件が水力開発に適し、かつ、開発規模が当該地域の需要に対して、最適であり計画は健全であるとの結論を得て詳細以下のとおり。

- ① バカル水力発電所の開発規模は、最大出力124MW、常時尖峰出力122MW、年向可能発電電力量9709Whが可能である。
- ② 本計画と代替電源の経済比較の結果は内部収益率が16%を創ることなく本計画は健全である。
- ③ バカル水力発電所とウジュンパンダムを連絡する送電線は、将来の地成開発の中心になる南スラウエシの西海岸を縦貫するため、沿岸都市の産業開発の基盤を与えるとともに大きな刺激を与える効果をもつ。
- ④ バカル水力の開発により電力系統の信頼性を高めるとともに発電端で5.2円/kWhの電力を供給できる。
- ⑤ 本計画の開発は工業化のみならず、ポンプ揚水によるかんがい計画も再開させることができる。

(4) コンサルタント名 (株) 新日本技術コンサルタント

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	指印之時期		調 査 内 容
				日時	宿泊	
1	5	大阪 → ジャカルタ	ジャカルタ	乙	乙	出発
2	6		"	"	"	PLN, 大使館, JICA事務所表敬
3	7		"	"	"	PLN 報告書説明
4	8		"	"	"	"
5	9		"	"	"	"
6	10		"	"	"	BARPENAS報告書説明
7	11		"	"	"	打ち合せ内容整理
8	12		"	"	"	PLNと打ち合せ
9	13		"	"	"	打ち合せ資料整理
10	14		"	"	"	LMK訪問, 大使館JICA事務所
11	15		"	"	"	PLNと打ち合せ
12	16	ジャカルタ → 大阪	—	"	"	帰国

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出

(単位:円)

区 分	計 画 額	流 用 額	流 用 後 額	実 績 額
I 調査旅費	995,485	1,754	995,189	995,189
II 現地調査費	160,406	△1,754	158,652	118,652
III 技術費	1,352,400	0	1,352,400	1,352,400
IV 報告書作成費	3,480,000	0	3,480,000	3,325,000
V 附帯費	140,000	0	140,000	130,887
合 計	6,126,241	0	6,126,241	5,922,128

(ロ) 収支決算

費 用	金 額(円)
概算受入額	6,126,241
支出総額	5,922,128
収支差引額	204,113

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計 画 額 (変更流用が認められた場合)		実 績 額	
	事業団直営分	コンサルタント委託分	事業団直営分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	995,189	0	995,189
II 現地調査費	0	158,652	0	118,652
III 技術費	0	1,352,400	0	1,352,400
IV 報告書作成費	195,000	3,285,000	0	3,325,000
V 附帯費	140,000	0	130,887	0
合 計	335,000	5,791,241	130,887	5,791,241

コンサルタント名 (株)新日本技術コンサルタント

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費 995,189円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	調査期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)	
						地域	単価 (円)	日数	計 (円)	地域	単価 (円)			日数
1	千秋 賀弘 (総括報告書説明)	2	12日 9/5~9/16	大阪-ジャカルタ 282,800円	0円	乙	3,800	12	45,600	乙	11,400	11	125,400	国内出張(大阪- 東京) 2,400円 旅行雑費 6,852円 480,252
2	珠玖 (報告書説明)	2	12日 9/5~9/16	大阪-ジャカルタ 282,800円	35,035円	乙	3,800	12	45,600	乙	11,400	11	125,400	国内出張(大阪- 東京) 2,400円 旅行雑費 6,902円 515,137
	計			565,600円	35,035円			91,200円				250,800円	52,554	995,189

505,84	員 旅 費
282,800	航空賃
35,035	支度料

480,252	千秋 賀弘
515,137	珠玖

480,252	千秋 賀弘
515,137	珠玖

480,252	千秋 賀弘
515,137	珠玖

Ⅱ 現地調査費 118,652円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		円	比
外貨分			
車輦等借上費	4,770	6,400	
資機材等購入費	19,188	29,400	
会議費	17,488	26,795	
計	78,446	120,195	
円貨分			
資機材送料	40,206		
計	40,206		
合計	118,652		

Ⅳ 報告書作成費 3325,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	3,325,000
印刷製本費	
合計	3,325,000

Ⅴ 附帯費 130,887円

費目	金額
会議費	34,700
その他	96,187
合計	130,887

Ⅲ 技術費 1,352,400円

(1) 直接人件費

現地報告書説明

区分 格付(号)	単価(人・日)円	日数(日)	人	金額(円)
2	25,000	23日/30日×12	2	460,000
計				460,000

(1) の計 460,000

(2) 諸経費 460,000円×110%= 506,000

(3) 技術経費 (460,000円+506,000円)×40%= 386,400

合計 (1)~(3) 1,352,400円

NO. 52-7

計画申請	昭和52年 6月11日 国協(秘計) 第6-324号
計画承認	昭和52年 6月21日 52通 第945号
担当	資源調査課長 末森 満

プロジェクト名 テュニジア共和国電力開発計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
継続 2年度目	技術調査		報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

現地報告期間 自昭和52年 9月10日
至昭和52年 9月22日

調査業務完了日 昭和52年 10月31日

総支出経費 31,188,153円

(1) 調査目的
昭和51年度に実施した現地調査結果等に基づき今年度は国内解析作業を行い、その成果を報告書としてとりまとめ、長期電力開発について最も適切な計画を勧告するとともにカセブ揚水発電計画の位置づけを行った。

(2) 調査内容
前年度実施した現地調査結果及び収集資料に基づき同国既設電力設備、電力システムの検討、需要想定と供給バランスの策定カセブ揚水発電所計画の検討等を行い150年(1977~1991)の電力設備計画を策定し報告書としてとりまとめ、同国政府に説明し報告書を送付した。

(3) 調査結果
同国の電力システムの現状、電源開発計画及びエネルギー事情等を総合的に検討した結果、電源開発計画の内容は既に発注済みの発電設備計画を除けば1983年以降ベース供給力としての150MWユニットの24~4火力とピーク供給力としてのKasseb揚水発電計画350MW(1期計画)250MW×2台 2期計画(100MW×2台)とを組み合せ開発することが最適である。

Kasseb揚水発電計画については、代替設備としてのガスタービンと比較しての経済性があり、火力発電設備が主力を占める電力系統内で運転予備力として、また負荷追従運転による規定周波数の維持、offshore天然ガス開発プロジェクトとの関連でガス・パイプラインの設備利用率を向上させる等最適な計画である。

(4) コンサルタント名 E. P. D. C. インターナショナル(株)

2. 調査日程

日次	月日	行 程	宿泊地	調査地		調査内容
				甲	乙	
1	9.10	11:00 J1441 19:00 東京 → パリ	パリ	指	指	移動
2	11	18:30 19:45 パリ → テュニス	チュニス	指	乙	
3	12		"	乙	乙	大使館表敬 STEGと打合せ
4	13		"	乙	乙	STEGへ説明
5	14		"	乙	乙	"
6	15		"	乙	乙	"
7	16		"	乙	乙	次期調査のminutesの署名
8	17	チュニス → カレブ	バンナキル	乙	乙	揚水発電サイトの視察
9	18	カレブ → テュニス	チュニス	乙	乙	フェルナ発電所、ア-ドレマダム視察
10	19		"	乙	乙	大使館報告
11	20	14:00 BR326 16:55 チュニス → ロンドン	ロンドン	甲	甲	移動
12	21	14:20 ロンドン		甲		"
13	22	15:45 東京		乙		"

(既出団員のみ)

8	9.17	18:05 AZ865 22:00 チュニス → ジュネーブ	ジュネーブ	甲	甲	
9	18	14:35 SR304 ジュネーブ	機 中	甲		
10	19	21:55 東京	—	乙		

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	3,306,490	3,179,570
II 現地調査費	360,672	170,639
III 技術費	25,118,474	25,118,474
IV 報告書作成費	2,500,000	2,500,000
V 附帯費	255,000	219,470
合 計	31,540,636	31,188,153

(ロ) 収支決算

債 用	金 額(円)
概算受入額	31,540,636
支出総額	31,188,153
収支差引額	352,483

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計 画 額 (変更、流用ある場合は別額)		実 績 額	
	事業団員費分	コンサルタント委託分	事業団員費分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	1,647,830	1,658,660	1,531,100	1,648,470
II 現地調査費	360,672	0	170,639	0
III 技術費	0	25,118,474	0	25,118,474
IV 報告書作成費	0	2,500,000	0	2,500,000
V 附帯費	255,000	0	219,470	0
合 計	2,263,502	29,277,134	1,921,209	29,266,944

コンサルタント名 E.P.D.C. インターナショナル(株)

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費 3,179,570円

NO.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価 (円)	日数	計 (円)	地域	単価 (円)			日数	計 (円)
1	小池 仁 (総括)	1	13日 9/10~9/22	東京—テュニス 625,200円	0円	指	4,700	1	4,700	指	14,600	1	14,600	5,400円	811,600
						甲	4,200	2	8,400	甲	12,700	1	12,700		
						乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	9	102,600		
						計	13	51,100	計	11	129,900				
2	小林 哲郎 (報告書説明)	1	13日 9/10~9/22	東京—テュニス 625,200円	24,060円	指	4,700	1	4,700	指	14,600	1	14,600	6,610円	836,870
						甲	4,200	2	8,400	甲	12,700	1	12,700		
						乙	3,800	10	38,000	乙	11,400	9	102,600		
						計	13	51,100	計	11	129,900				
3	蝦田 佑一 (企画)	4	10日 9/10~9/19	東京—テュニス 630,100円	0円	指	4,000	2	8,000	指	12,500	1	12,500	1,000円	747,500
						甲	3,500	2	7,000	甲	10,900	1	10,900		
						乙	3,200	6	19,200	乙	9,800	6	58,800		
						計	10	34,200	計	8	83,200				
4	平田 一隆 (業務調整)	3	13日 9/10~9/22	東京—テュニス 625,200円	0円	指	4,000	2	8,000	指	12,500	1	12,500	3,000円	783,600
						甲	3,500	2	7,000	甲	10,900	1	10,900		
						乙	3,200	9	28,800	乙	9,800	9	88,200		
						計	13	43,800	計	11	111,600				
計				2,505,700円	24,060円	180,200円			453,600円			16,010円	3,179,570円		

小池 仁	1	13日	東京—テュニス	625,200円	0円	51,100円	129,900円	5,400円	811,600円
小林 哲郎	1	13日	東京—テュニス	625,200円	24,060円	51,100円	129,900円	6,610円	836,870円
蝦田 佑一	4	10日	東京—テュニス	630,100円	0円	34,200円	83,200円	1,000円	747,500円
平田 一隆	3	13日	東京—テュニス	625,200円	0円	43,800円	111,600円	3,000円	783,600円
計				2,505,700円	24,060円	180,200円	453,600円	16,010円	3,179,570円

小池 仁	1	13日	東京—テュニス	625,200円	0円	51,100円	129,900円	5,400円	811,600円
小林 哲郎	1	13日	東京—テュニス	625,200円	24,060円	51,100円	129,900円	6,610円	836,870円
蝦田 佑一	4	10日	東京—テュニス	630,100円	0円	34,200円	83,200円	1,000円	747,500円
平田 一隆	3	13日	東京—テュニス	625,200円	0円	43,800円	111,600円	3,000円	783,600円
計				2,505,700円	24,060円	180,200円	453,600円	16,010円	3,179,570円

II 現地調査費 170,639円

費目	円貨額(円)	現地調査費	
		Dollar	F/R
外貨			
車輦等借上費	24,988	40.20	
通信運搬費	26,294	25,298	184.00
会議費	95,968	157,622	
交換手数料及差損	13,402		
計	160,654	218,920	184.00
円貨			
事務用品	4,995		
医薬品	4,990		
計	9,985		
合計	170,639		

III 技術費 25,118,474円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分 格付	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金額(円)
1(号)	26,800	23日×3.0	1,849,200
2	25,000	23日×5.0	2,875,000
3	21,600	23日×3.0	1,490,400
4	17,200	23日×3.0	1,186,800
5	13,700	23日×0.5	157,550
6	9,600	23日×0.5	110,400
計		15.0	7,669,350

⑤ 現地報告書説明

区分 格付	単価(人・日)(円)	日数(日)	人数	金額(円)
1(号)	26,800	23日/30日×1.3	2	554,213
計		1.3	2	554,213

(1)の計(④+⑤)	8,203,583	583
(2) 諸経費	8,203,583円×110% =	9,023,919
(3) 技術経費	(8,203,583円+9,023,919円)×40% =	5,890,992
(4) 基礎資料処理費		1,000,000
合計(1)~(4)	25,118,474	474

IV 報告書作成費 2,500,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	400,000
印刷製本費	2,100,000
合計	2,500,000

V 附帯費 219,470円

費目	金額(円)
交通費	19,290
会議費	128,180
その他	72,000
合計	219,470

NO. 52-8

計画申請	昭和52年 6月16日 国協(協計)第6-549号
計画承認	昭和52年 7月11日 52通第965号
担当	資源調査課 氏名 長畑 貞之

プロジェクト名 コロンビア共和国カウカ河渓地蔵石炭開発計画調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続	技術調査用派遣費	報告書説明	今回で完了
2年度目		国内設計作業	
2回目		報告書印刷	

現地報告期間

自 昭和52年10月3日
至 昭和52年10月16日
昭和52年12月31日

調査業務完了日

総支出経費

20,446,478円

(1) 調査目的

昭和51年度に実施した現地調査に基づき、国内作業を行い、報告書を作成、コロンビア共和国政府に提出する。

(2) 調査内容

- ① 報告書の作成。(収集サンプル、その他資料を分析し、Valle del Cauca 炭田開発計画を策定する。)
- ② 報告書のコロンビア共和国政府への説明。
- ③ 報告書のコロンビア共和国政府への送付。

(3) 調査結果

報告書和文50部、西文60部を作成した。調査の結果有望開発地点12か所を選定した。開発構想としては、現在1カ所を除いては坑口レベル上しか探掘していないので、坑口レベル以下の探掘を勧告した。さらに今後のプロジェクト推進のためモデル炭鉱を選定し開発を行うべきこと、そのため日本からの専門家派遣の可能性等を示唆した。

(4) コンサルタント名

海外石炭開発(株)

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	機中		調 査 内 容
				日	宿	
1	10/3	東京 → ニューヨーク	ニューヨーク	乙	乙	出発
2	4	ニューヨーク → ボゴタ	ボゴタ	乙	乙	
3	5		"	"	"	大使館 Corbbacol に報告書説明
4	6		"	"	"	鉱山課に省、企画省に報告書説明
5	7		"	"	"	Corbbacol 産業界会社と打合せ
6	8		"	"	"	資料整理
7	9	ボゴタ → カリ	カリ	"	"	移 動
8	10		"	"	"	Procarbanc に報告書説明
9	11		"	"	"	打合せ
10	12	カリ → ボゴタ	ボゴタ	"	"	移 動
11	13		"	"	"	企画庁
12	14	ボゴタ → ニューヨーク	ニューヨーク	甲	甲	帰国
13	15	ニューヨーク → 機中	機中	乙	乙	
14	16	機中 → 東京	東京	乙	乙	

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	702,700	700,621
II 現地調査費	233,224	111,039
III 技術費	17,574,358	17,376,358
IV 報告書作成費	2,710,000	2,020,360
V 附帯費	240,000	238,100
合 計	21,460,282	20,446,478

(ロ) 収支決算

費 用	金 額(円)
概算受入額	21,460,282
支出総額	20,446,478
収支差引額	1,013,804

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(変更) 流用ありの場合		実 績 額	
	事業団直営分	コンサルタント委託分	事業団直営分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	702,700	0	700,621
II 現地調査費	0	233,224	0	111,039
III 技術費	0	17,574,358	0	17,376,358
IV 報告書作成費	0	2,710,000	0	2,020,360
V 附帯費	240,000	0	238,100	0
合 計	240,000	21,220,282	238,100	20,208,378

コンサルタント名 海外天然開発(株)

4. 収支決算書目内訳

1 調査旅費 700.621円

No.	氏名 (担当)	格付	派遣期間 (日数)	① 航空費	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	青木正行 (報告書説明)	/	14日 19/3~19/6	東京	0円	甲	4700	1	4700	甲	14600	1	14600	3921円	700.621
						乙	3800	13	47400	乙	11400	10	114000		
計				514,000円	0円	54,100円			128,600円			3,921円	700.621円		

調査旅費の内訳は、航空費、支度料、日当、宿泊料、旅行雑費に分類され、それぞれが調査活動に必要不可欠な費用として発生している。

航空費は、調査対象地域への移動に必要であり、支度料は現地での生活に必要である。日当は、調査期間中の食料や交通費に充てられ、宿泊料は調査期間中の宿泊費用に充てられる。

旅行雑費は、調査活動に必要不可欠な費用として発生している。

以上、調査旅費の内訳は、航空費、支度料、日当、宿泊料、旅行雑費に分類され、それぞれが調査活動に必要不可欠な費用として発生している。

II 現地調査費

111,039円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		ペソ	ソ
備入費	60,768	＄ 7,200	
車輦等借上費	10,212	＄ 1,210	
交通費	26,164	＄ 3,100	
会議費	5,237	＄ 737	
支換手続料及差損	7,658		0
計	111,039	＄ 12,247	

III 技術費

173,763.58円

① コンサルタント経費

16,163.658円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

号	単価(円)	人・月(人・月)	金額(円)
1号	26,800	29日 × 4.7	1,047,880
2号	25,000	23日 × 5.3	2,047,500
3号	21,600	25日 × 4.8	894,240
5号	12,700	23日 × 0.7	220,570
計			5,210,190

⑤ 現地報告書説明

号	単価(円)	日数(日)	人	金額(円)
1号	26,800	23日 × 1.0	1	287,653
計		14	1	287,653

(1)の計(④ + ⑤) 5,497,843

(2) 諸経費 5,497,843円 × 110% = 6,047,627

(3) 技術経費 (5,497,843円 + 6,047,627円) × 40% = 4,618,188

合計(1)~(3) 16,163,658円

② 直接経費

1,212,700円

(1) 石炭分析費

1,010,700円

(2) 地形図作成費

202,000円

IV 報告書作成費

2,020,360円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	874,600
印刷紙本費	1,145,760
合計	2,020,360

V 附帯費

238,100円

費目	金額(円)
交通費	20,000
会議費	118,830
その他	99,270
合計	238,100

No. 52-9

プロジェクト名

プロジェクト名 エル・サルヴァドル共和国金属機械工業開発計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
継続 (2年度目) 2回目	技術調査出張費		報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今期で完了

計画申請	昭和52年6月21日国協(総計)第6-415号
計画承認	昭和52年9月22日 52通第1150号
担当	工業調査課 氏名 関 栄一

現地報告期間
調査業務完了日
総支出経費

自 昭和52年11月12日
至 昭和52年11月20日
昭和52年12月31日
8,328,683円

<p>(1) 調査目的</p> <p>昭和51年度に実施した現地調査、国内作業に引き続き報告書原稿を作成し、現地政府に対する説明ミッションを派遣し、その後報告書を作成し、エル・サルヴァドル政府へ送付する。</p> <p>(2) 調査内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 51年度中に作成した報告書原稿のすり合わせを行う。 上記原稿にて和文報告書原稿を作成し、英訳する。 エル・サルヴァドル共和国に対し説明ミッションを派遣する。 英和文の報告書を印刷し、英文はエル・サルヴァドル政府へ提出する。 	<p>(3) 調査結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 工業開発の基本政策は、フリーゾーンに立地し、域外輸出に重点を置く香港型ではなく、中米域内の輸入代替と域外輸出を組合わせた国産の形態が必要。 金属・機械工業の開発可能業種としてはキエリが有望である。 今後の短期戦略としてはエル・サルヴァドル政府が主体となってプロジェクトチームを作り、資金計画、市場の調査、企業形態等について具体的な実施計画を作成すべきである点を勧告した。 <p>(4) コンサルタント名</p> <p>(株) 野村総合研究所</p>
---	--

2. 調査日程

日数	月日	行 程	着 泊 地	指 導 地 別		調 査 内 容
				日 当	高 泊	
1	11/12	東京 PA208 → ロクアンスセルス	ロクアンスセルス	甲	甲	
2	13	ロクアンスセルス → サカサカビル	サカサカビル	甲	乙	
3	14			乙		日本大使館と打合せ
4	15					経済企画省にて説明 討議
5	16					
6	17					
7	18	サカサカビル → ロクアンスセルス	ロクアンスセルス	甲	甲	
8	19	ロクアンスセルス → PA003	機 中			
9	20	→ 東京		乙		

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出 (単位: 円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	627,600	583,140
II 現地調査費	139,986	3,701
III 技術費	3,737,130	3,624,432
IV 報告書作成費	3,910,000	3,910,000
V 附帯費	210,000	207,410
合 計	8,624,716	8,328,683

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	8,624,716
支出総額	8,328,683
収支差引額	296,033

(1) (1)の内訳

(単位: 円)

区 分	計 画 額 (収支差引額)		実 績 額	
	事業用直営分	コンサルタント委託分	事業用直営分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	627,600	0	583,140
II 現地調査費	0	139,986	0	3,701
III 技術費	0	3,737,130	0	3,624,432
IV 報告書作成費	0	3,910,000	0	3,910,000
V 附帯費	210,000	0	207,410	0
合 計	210,000	8,414,716	207,410	8,121,273

コンサルタント名 (株) 野村総合研究所

4. 収支決算費目内訳

1988年度第1期 (1)

1 調査旅費

583,140 円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	旅費期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当			④ 宿 迎 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	橋田 担 (報告書説明)	2	7日 11/12~11/20	東京-札幌(ワイドル 往復(エコノミー) 464,200円	0円	甲	4,200	4	16,800	甲	12,700	2	25,400	740円	583,140
						乙	3,800	5	19,000	乙	11,400	5	57,000		
									計				計		
計				464,200円	0円	35,800円			82,400円			740円	583,140円		

調査旅費 (報告書説明) 583,140円

調査旅費	583,140	報告書説明	583,140
航空賃	464,200	支度料	0
日当	35,800	宿迎料	82,400
旅行雑費	740		
合 計	583,140		

II 現地調査費

3,701 円

費目	円貨額 (円)	現地通貨
		金額 (円)
外貨		
車輦等借上費	2,468	2,500
文換手数料及差損	1,233	
計	3,701	2,500

② 現地報告書説明

区分	単価 (人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
2号	25,000	23日/20日 X 9	1	172,500
計		9	1	172,500

III 技術費

3,624,432 円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分	単価 (人・日) (円)	人・日 (人・日)	金額 (円)
2号	25,000	23日 X 15	862,500
3号	17,200	23日 X 0.5	197,800
計		2.0	1,060,300

(1) の計 (A) + (B)

1,232,800

(2) 諸経費 1,232,800円 X 110% =

1,356,080

(3) 技術経費 (1,232,800円 + 1,356,080円) X 40% =

1,035,522

合計 (1) ~ (3)

3,624,432 円

IV 報告書作成費

3,910,000 円

費目	金額 (円)
報告書原簿印刷費	1,110,000
印刷製本費	2,800,000
合計	3,910,000

V 附帯費

207,410 円

費目	金額 (円)
交通費	20,000
会議費	34,740
その他	152,670
合計	207,410

No. 52-10

大分県立総合技術専門学校

大分県立総合技術専門学校

プロジェクト名 フィリピン共和国製鉄所建設計画のフェーズビリティ調査

計画申請	昭和52年7月20日国協(鉄計)第7-658号
計画承認	昭和52年9月16日 52通第1151号
担当	工業調査課 氏名 関 栄一

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続 (2年度目) (2回目)	技術調査団派遣費	報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

現地報告期間

自 昭和52年9月19日
至 昭和52年9月25日

調査業務完了日

昭和53年12月31日

総支出経費

76,632,505円

(1) 調査目的

昭和51年度に実施した現地調査の結果に基づき、国内作業を行い、報告書(和文、英文)原稿を作成し、フィリピン政府に説明を行う。その後和文、英文報告書を作成し、英文報告書を送付する。

(2) 調査内容

1. 以下の内容の報告書を作成する。

① 編 … プラントの概要

(製品概要と製鉄フロー、プラントレイアウト、プラントコスト等)

② 編 … マスクープランの詳細

(各工程の詳細、設備、操業の問題点と対策)

2. 上記の報告書原稿を作成し、フィ側に報告し、その後報告書を作成し、送付する。

(3) 調査結果

1. 製鉄所建設はI期、II期の2段階とする。
 2. ①I期における粗鋼生産能力は105万t/aとする。
 3. ①I期における圧延設備は、現存の国営製鉄所の設備松表によりまかなう。
 4. 製鉄所建設にかかる総コストは813百万ドルと見積られる。
- 基本的には、上記のことが調査結果として、報告書の中心をなしており、同報告書は52/12にフィリピン側に送付済みである。

(4) コンサルタント名

社団法人 日本鉄鋼連盟

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	調査日程		調査内容
				日当	宿泊	
1	19	東京 → マニラ	マニラ	○	○	
2	20			○	○	大使館説明・カウンターパートレポート説明
3	21			○	○	(V.1.1の総括説明)
4	22			○	○	工業大臣への説明(V.1.2の総括説明)
5	23			○	○	設備、経理の質疑
6	24	マニラ → 東京		○	○	有償帰国
7	25	マニラ → 東京		○	○	橋本、大塚、清水、白藤帰国
8	26			○	○	飯山、松尾、尾花、藤田、河井、長沢
9	27	マニラ → 東京		○	○	河井、長沢帰国

(9/25～27の日当、宿泊費は東南アジア航空で負担)

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支出 (単位:円)

区 分	計画額	実績額
I 調査旅費	1,859,580	1,799,894
II 現地調査費	197,860	197,560
III 技術費	71,655,205	71,579,461
IV 報告書作成費	2,900,000	2,900,000
V 附帯費	160,000	155,590
合 計	76,812,645	76,632,505

(ロ) 収支決算

費 用	金額 (円)
総算投入額	76,812,645
支出総額	76,632,505
収支差引額	180,140

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(仮定、流用がある場合は別)		実 績 額	
	事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	556,280	1,343,300	498,994	1,300,900
II 現地調査費	10,000	187,860	9,700	187,860
III 技術費	0	71,655,205	0	71,579,461
IV 報告書作成費	0	2,900,000	0	2,900,000
V 附帯費	160,000	0	155,590	0
合 計	716,280	76,086,365	664,284	75,968,221

コンサルタント名 社団法人日本鉄鋼連盟

4. 収支決算項目内訳

I 調査旅費

1,799,894円

No.	氏名 (担当)	招待 (名)	調査期間 (日数)	① 船賃	② 交際料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅費雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	有賀敏彦 (総括)	1	6日 9/17~9/24	東京 - 2泊 往復(7P.2) 20,800円	0円	2	4,300	6	25,800	2	13,100	5	65,500	0円	300,300
2	大塚 弘 (設備企画)	1	7日 9/19~9/25	東京 - " (工7) (-) 158,600円	0円	2	3,800	7	26,600	2	11,400	6	68,400	0円	253,600
3	清水久男 (コ-ソ177,612)	1	7日 9/19~9/25	東京 - " 158,600円	0円	2	3,800	7	26,600	2	11,400	6	68,400	0円	253,600
4	橋本実輔 (経済企画)	2	7日 9/17~9/25	東京 - " 158,600円	0円	2	3,800	7	26,600	2	11,400	6	68,400	0円	253,600
5	伊藤徳兼 (経理解析)	5	7日 9/17~9/25	東京 - " 158,600円	0円	2	3,200	7	22,400	2	9,800	6	58,800	0円	239,800
6	向井 保 (企画)	3	7日 9/19~9/25	東京 - " 158,600円	0円	2	3,200	7	22,400	2	9,800	6	58,800	1,697円	241,497
7	長次幸敏 (業務調整)	2	7日 9/17~9/25	東京 - " 158,600円	0円	2	3,800	7	26,600	2	11,400	6	68,400	3,897円	257,497
計				1,160,600円	0円			177,000円			456,700円		5,594円	1,799,894円	

II 現地調査費

197,560円

費目	数量	単価(円)	金額(円)	備考
外貨	車賃等借上費		46614	
内貨	交通費		173382	
分計			187860	(利息0.32, 136円) (対比費型)
内貨	事務用品		5000	
内貨	医薬品		4700	
分計			9700	
合計			197560	

III 技術費

71,579,461円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分 格付	単価(人・日)(円)	人・月(人・H)	金額(円)
特号	40,000	23日 x 1.0	920,000
1号	26,800	23日 x 14.0	3,629,600
2号	25,000	23日 x 17.5	10,062,500
3号	21,600	23日 x 15.5	7,700,400
5号	13,700	25日 x 9.0	945,300
計		51	28,257,800

⑤ 現地報告説明

区分 格付	単価(人・日)(円)	日数(日)	人数	金額(円)
特号	40,000	23日 x 6	1	1,840,000
1号	26,800	23日 x 7	2	2,876,533
2号	25,000	23日 x 7	1	1,341,666
3号	21,600	23日 x 7	1	1,151,920
計		27	5	7,210,119

(1) の計 (A) + (B) = 28,977,539

(2) 諸経費 28,977,539円 x 20% = 26,081,585

(3) 技術経費 (28,977,539円 + 26,081,585円) x 20% = 16,518,337

合計 (1) - (3) = 71,579,461円

IV 報告書作成費

2,900,000円

費目	金額(円)
印刷製本費	2,900,000

V 附帯費

155,590円

費目	金額(円)
交通費	8,150
会議費	36,850
その他	110,590
合計	155,590

No. 52-11

計画申請	昭和52年9月29日	国協(鉦計)第9-36号
計画承認	昭和52年10月24日	52通第1423号
担当	工業調査課	氏名 関 栄一

プロジェクト名 タイ王国東北部工業開発計画調査(予備調査)

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規	技術調査団派遣費		事前調査 報告書説明 図面設計作業 報告書印刷	今回で完了

現地調査期間 自 昭和52年10月23日
至 昭和52年11月5日
調査業務完了日 昭和53年1月9日

総支出経費 4,673,860円

(1) 調査目的

タイ王国政府の要請に基づき、同国の東北部開発政策の中心プロジェクトとして同国が位置づける工業用地計画につき、タイ側の意向を明確にするとともに、当該用地計画の実現可能性につき調査するものである。

(2) 調査内容

- I. タイ側の東北部地域開発政策の現状
- 2) 上記開発計画における工業開発計画と工業用地計画の位置づけ
- 3) 現地(東北部)調査による同地政の工業開発ホランシヤリテイの把握
- II. 上記調査に基づく和文報告書の作成

(3) 調査結果

今回の事前調査結果

- 1) 工業用地計画は時期尚早
 - 2) 長期的視野から基本政策の策定を行うべきである。
- との結果が得られ、同プロジェクトについては、JICAは長期的にフォローしていくべきであるとの結論に至ったため、本調査は今後のタイ側の動向を見定めて検討することとなった。

(4) コンサルタント名

直営 (国内作業については(社)海外コンサルティング企業協会と契約)

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿 泊 地	宿中 日当	旅費 当	調 査 内 容
1	19/6	東京 SK225 バンコック	バンコック	乙	乙	JICA事務所打合せ
2	21			乙	乙	日本大使館打合せ 事情ヒアリング
3	28			乙	乙	IEA 工業省 NESDB 討議
4	27	バンコック → コンケン	コンケン	乙	乙	移動
5	20			乙	乙	市内 町木 施設調査
6	31			乙	乙	工業省 国上 行 支 局 精米工場 調査
7	11/1	コンケン → ウドン	ウドン	乙	乙	サトウ 調査 三井物産にてヒアリング
8	2	ウドン → バンコック	バンコック	乙	乙	ウドン 調査 現地 地価 JETRO 事情ヒアリング
9	3			乙	乙	IEA 討議
10	4			乙	乙	資料収集
11	5	バンコック → バグヤ	バグヤ	乙	乙	東部工業 施設 調査
12	6	バグヤ → バンコック	バンコック	乙	乙	田内 打合せ
13	7			乙	乙	大使館事務所と打合せ
14	8	バンコック → 東京		乙	乙	帰国

3. 評価業務収支決算概括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出 (単位: 円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	1,725,630	1,697,664
II 現地調査費	623,227	622,527
III 技術費	2,125,259	2,125,259
IV 報告書作成費	150,000	150,000
V 附帯費	295,000	78,410
合 計	4,859,716	4,673,260

(2) 収支決算

費用 科目	金額 (円)
総算収入額	4,859,716
支出総額	4,673,860
収支差引額	185,856

(3) (1)の内訳

(単位: 円)

区 分	計 画 額 (仮定適用ありの場合にその額)		実 績 額	
	事業計画値	コンサルト費	事業計画値	コンサルト費
I 調査旅費	1,725,630	0	1,697,664	0
II 現地調査費	623,227	0	622,527	0
III 技術費	1,025,986	1,099,273	1,025,986	1,099,273
IV 報告書作成費	150,000	0	150,000	0
V 附帯費	235,000	0	78,410	0
合 計	3,760,443	1,099,273	3,574,527	1,099,273

コンサルト名 直営(国内作業については(株)海外コンサルティング企業協会)

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

1,677,664円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	※滞期間 (日数)	①航空賃	②支度料	③日当			④宿泊料			⑤旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	上杉勝之 (総括)	4	14日 10/26~11/8	東京-バンコック (エコノミー)往復 225,400円	30,995円	北欧	3,200	14	44,800	北欧	9,800	13	127,400	2,906円	431,501
2	佐藤日出男 (工業土地)	2	14日 10/26~11/8	東京-	225,400円	北欧	3,800	14	53,200	北欧	11,400	13	148,200	2,716円	464,551
3	鈴木直人 (経済評価)	5	14日 10/26~11/8	東京-	225,400円	北欧	3,200	14	44,800	北欧	9,800	13	127,400	4,406円	402,606
4	関 栄一 (業務調整)	5	14日 10/26~11/8	東京-	225,400円	北欧	3,200	14	44,800	北欧	9,800	13	127,400	2,006円	399,606
計				901,600円	66,080円	187,600円			530,400円			12,034円	1,677,664円		

II. 現地調査費

622,527円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		円	現地通貨
車輜等借上費	359,664		28,320
交通費	25,400		2,000
通信運搬費	6,858		540
資機材等購入費	95,402		7,512
現地報告書作成費	7,290		574
会議費	124,423		9,797.10
計	619,827		48,743.10
車務用品	4,400		
医薬品	4,300		
外計	8,700		
合計	622,527		

② 国内設計作業

区分 格付	単価(人日)(円)	人日(人日)	金額(円)
2号	25,000	23日 × 0.3	287,500
5号	13,700	23日 × 0.5	157,550
計			445,050

(1) の計 (① + ②) = 860,429

(2) 諸経費 860,429円 × 90% = 774,386

(3) 技術経費 (860,429円 + 774,386円) × 90% = 490,444

合計 (1) ~ (3) = 2,125,259円

III 技術費

2,125,259円

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分 格付	単価(人日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
2号	25,000	23日/20日 × 14	1	268,333
5	13,700	23日/30日 × 14	1	147,046
		28	2	415,379

IV 報告書作成費

150,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	150,000

V 附帯費

78,410円

費目	金額(円)
会議費	78,410

No 52-12

プロジェクト名 アフリカ諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査 (No. 1)

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規	プロジェクト選定確認調査 日賦遣費		事前調査	今回で完了

計画申請	昭和52年9月29日 国協(鉱計)第9-1545号
計画承認	昭和52年6月18日 52通第910号
計画受承認	昭和52年10月27日 52通第1420号
担当	鉱工業計画課 氏名 高木 繁

現地調査期間

自 昭和52年6月23日
至 昭和52年7月15日

調査業務完了日

昭和52年10月31日

総支出経費

4,118,072円

(1) 調査目的

タンザニア、ザンビア及びケニア各国に対する我が国の技術協力のうち鉱工業関係の推進計画を切実的に実行するため、各国の要請プロジェクトについてその要請の背景、経済開発計画等における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定確認を行う。併せてタンザニアにおいては別途同時期に派遣する若性ソーダPVC実施調査団に途中合流し、中間報告書の評価に参画する。

(2) 調査内容

イ) 各国の経済開発計画、鉱工業開発計画の内容および関係プロジェクトの進捗状況調査
ロ) 各国の日本に対する経済協力、技術協力の緊要性の調査
ハ) 各国の鉱工業プロジェクトのうち、日本の技術協力を要請するものの内容調査
ニ) 日本が協力しうる鉱工業プロジェクトの選定確認
ホ) 各国政府機関に対する事業団の業務のPR

(3) 調査結果 (タンザニア) 若性ソーダ及びPVCの2プロジェクトの調査結果がフリーゾナルでなく、代替する鉱工業分野を中心とする対象プロジェクトの発掘に努めたが具体的な案件は見い出せなかった。

(ザンビア) プロジェクトの発掘、選定確認において具体的な成果は得られなかったが、日本(国際協力事業団)の技術協力の仕組みを説明しまたザンビア側の援助受入組織について説明を受け、両国相互の理解を深めることができた。

(ケニア) ケニア側から (1)パイプラ敷設計画 H/S (2)地熱発電 H/S (3)木材産業近代化計画 H/S 等が技術協力案件として要請された。このうち(3)については「ケニア共和国木材加工業近代化計画調査」として実施中である。

(4) コンサルタント名
直営

2. 調査日程

日順	月日	行程	届泊地	届泊地特別		調査内容
				日当	届泊	
1	23	東京	ダレスサラム	乙	乙	
2	24			乙	乙	大使館表取、井田メダ、PVC調査地視察
3	25	ダレスサラム	モロコシ	乙	乙	首任メダ、PVC調査地と合同会議、中間報告表取
4	26	モロコシ	ダレスサラム	乙	乙	モロコシ地方農工業視察、OFCFナロC駐在員との打合せ会議
5	27			乙	乙	JE.TRO、エヌナレバツアール、IIB駐在員、首任メダ、PVC調査の中間報告書と打ち合わせ
6	28			乙	乙	取水調査、エヌナレバツアール、資源局次官と会議、大使館と打合せ
7	29			乙	乙	大蔵省西省次官補に首任メダ、PVC調査結果報告
8	30			乙	乙	運輸、通信局、EAPT(東阿西州知事)、S.M.C(造船社)ナロC駐在員、世帯450R2別荘物件と会議
9	31			乙	乙	S.A.C(印刷公社)と会議、商社訪問、大使館と打合せ
10	2			乙	乙	首任メダ、PVC調査結果に際する関係機関、FJIS、Minibus、大使館、IRI、IDP駐在員との会議
11	3	ダレスサラム	ルサカ	乙	乙	IDP等(4名)との会議
12	4			乙	乙	大使館表取、打合せ、駐在員(日商)との懇談
13	5			乙	乙	駐在員(日商)との懇談
14	6			乙	乙	経済、技術協力官と会議、国営開発計画官と会議
15	7			乙	乙	MCCM社、RCH社訪問、INDECO(工業開発公社)大蔵省次官と会議
16	8	ルサカ	ナイロビ	乙	乙	大使館表取
17	9	ナイロビ	ニエリ	乙	乙	ニエリ工業団地予定地視察
18	10			乙	乙	休日
19	11			乙	乙	商工省工業局長と会議、天然資源省との会議、ICDC(商工開発公社)との会議
20	12			乙	乙	大蔵省次官補他と会議、運輸省次官補他と会議
21	13	ナイロビ	ロンドン	甲	甲	
22	14	ロンドン(パリ)	横中泊	甲		
23			東京	乙		

3. 調査業務収支決算帳目表

(1) 収支決算総括表

(1) 支出 (単位:円)

区分	計画額	実績額
I 調査旅費	1,390,122.0	3,110,485
II 現地調査費	727,100	650,383
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	150,000	75,850
V 附帯費	273,700	281,354
合計	4,452,020	4,118,072

(2) 収支決算

費用	金額(円)
概算受入額	4,452,020
支出総額	4,118,072
収支差引額	333,948

(1) (1)の内訳

(単位:円)

区分	計画額(支費、深川あり、場合はその額)	
	事業直管分	事業間直管分
I 調査旅費	1,390,122.0	3,110,485
II 現地調査費	727,100	650,383
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	150,000	75,850
V 附帯費	273,700	281,354
合計	4,452,020	4,118,072

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

3,110,485円

No.	氏名 (担当)	招待 (名)	派遣期間 (日数)	① 船室賃	② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤) (円)		
						船数	単価(円)	日数	計(円)	船数	単価(円)			日数	計(円)
1	向井 保 (技術協力行政)	4	19日 6/23~7/11	東京-神戸-東京 725,200円	61,990円	乙	3,200	19	60,800	乙	2,800	17	166,600	2,685円	1,017,275
2	加藤 克之 (開発計画一般)	5	19日 6/23~7/11	東京-神戸-東京 725,200円	53,900円	乙	3,200	19	60,800	乙	2,800	17	166,600	6,585円	1,013,085
3	大橋 英雄 (技術協力一般)	3	23日 6/29~7/5	東京-神戸-東京 725,200円	66,030円	甲 乙	3,500 3,200	2 21	7,000 67,200	甲 乙	1,500 2,800	1 20	10,900 196,000 206,900	7,995円	1,080,125
計				2,175,600円	181,920円	195,800円			540,100円			17,065円	3,110,485円		

II 現地調査費

650,383円

費 目	円 貨 額 (円)	現 他 通 貨		
		ポ ー ン	ク ー ン	ク ー ン
外貨分				
車船等借上費	429,140	8,887.8	97.52	2,830.0
資機材等購入費	3,045		8.8	2,800.0
会 費	197,743	4,684.65	51.86	777.6
文機材料取扱費	19,515			
計	640,443	13,582.55	158.28	3,607.6
円貨分				
医薬品	9,940			
計	9,940			
合 計	650,383			

III 報告書作成費

75,850円

費 目	金 額 (円)
報告書原稿作成費	75,850
印刷製本費	

IV 附帯費

281,354円

費 目	金 額 (円)
交 通 費	16,170
会 議 費	224,304
国 内 旅 費	38,600
其 他	2,280
合 計	281,354

No. 52-13

昭和52年9月13日

計画申請	昭和52年9月13日 国協(鉱計)第9-725号
計画承認	昭和52年9月16日 52通第1365号
担当	鉱工業計画課 氏名 高木 繁

プロジェクト名 東南アジア諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査(フィリピン)

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規			事前調査	今回で完了

現地調査期間 自 昭和52年9月26日
至 昭和52年9月27日

調査業務完了日 昭和52年12月31日

総支出経費 256.762円

(1) 調査目的
フィリピンに対する我が国の技術協力のうち鉱工業関係の開発計画を効率的に実行するため、フィリピンの要請プロジェクトについてその要請の背景、経済開発計画等における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定確認を行う。

(2) 調査内容
イ) フィリピンの経済開発計画、鉱工業開発計画の内容および関係プロジェクトの進捗状況調査 ロ) フィリピンに鉱工業プロジェクトのうち日本の技術協力を要請する案件の内容審査 ハ) 日本が協力しうる鉱工業関係プロジェクト選定確認

(3) 調査結果
フィリピン政府より要請のあった「バギオ地区鉱山排水公営計画調査」についてフィリピン政府関係機関より事情聴取した結果、フィリピン政府にとって緊急な調査であると判断し、52年度案件として実施した。

(4) コンサルタント名
直営

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	振替支別		調 査 内 容
				日当	宿泊	
	9/25		マニラ	/	Z	
1	7/26		マニラ	Z	Z	銘山省 BOIにて事情聴取
2	9/27	マニラ JL746 東京		Z	/	

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	56,400	56,400
II 現地調査費	214,120	57,088
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	150,000	35,850
V 附帯費	109,000	107,424
合 計	529,520	256,762

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算収入額	529,520
支出総額	256,762
収支差引額	272,758

(3) (1)の内訳

(単位:円)

区 分	総額(概算)対(実績)	
	事案田直管分	事案田直管分
I 調査旅費	56,400	56,400
II 現地調査費	214,120	57,088
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	150,000	35,850
V 附帯費	109,000	107,424
合 計	529,520	256,762

4 収支決算書内訳

I 調査旅費 56,400円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空費	② 支戻料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤)(円)		
						席種	単価(円)	日数	計(円)	席種	単価(円)			日数	計(円)
1	何井 保 (技術協力行政)	3	2日 7/26~7/27	0円	0円	2	3,200	2	6,400	2	9,800	2	19,600	0円	26,000
2	長沢 幸敏 (技術協力一般)	2	2日 7/26~7/27	0円	0円	3	3,800	2	7,600	2	11,400	2	22,800	0円	30,400
計				0円	0円	14,000円			42,400円			0円	56,400円		

II 現地調査費

57,088円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		レ	ソ
外貨分 車船等路上費	9,502	254.60	
資機材等購入費	4,027	107.90	
会議費	35,107	940.70	
交換手数料反送金	2,452		
計	57,088	1,303.20	

III 報告書作成費

35,850円

費目	金額(円)
印刷製本費	35,850

IV 附帯費

107,424円

費目	金額(円)
交通費	6,360
会議費	96,964
その他	4,100
合計	107,424

No. 52-14

プロジェクト名 アフリカ諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査 (No. 2)

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規	プロジェクト選定確認調査 田派遣費		事前調査	今回で完了

計画申請	昭和52年9月25日 国協(鉱計) 第9-1570号
計画承認	昭和52年10月4日 52通第1421号
担当	鉱工業計画課 氏名 高木 繁

現地調査期間 自 昭和52年10月8日
至 昭和52年10月23日

調査業務完了日 昭和53年1月31日

総支出経費 2,577,356 円

(1) 調査目的

マリ、ナイジェリア、リベリア各国に対する、我が国の技術協力のうち鉱工業関係の開発計画を効率的に実行するため、各国の要請プロジェクトについてその要請の背景、経済開発計画等における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定確認を行う。なお、マリには日本大使館がないので、セネガルに寄り日本大使館と打合わせを行う。

(2) 調査内容

イ) 各国の経済開発計画、鉱工業開発計画の内容および関係プロジェクトの進捗状況調査、ロ) 各国が日本に対する経済協力、技術協力の緊要度の調査、ハ) 各国の鉱工業プロジェクトのうち、日本の技術協力を要請する案件の内容審査ニ) 日本が協力しうる鉱工業関係プロジェクトの選定確認、ホ) 各国政府機関に対する事業団の業務のPR

(3) 調査結果

(マリ) マリ政府の日本に対する技術協力要請は非常に強く、開発調査案件は、具体的プロジェクトとして一部実施される。鉱工業案件として(1) 鉱物資源開発 (2) ケンエバ、ゴム開発の協力を要請されたが具体的な案件とはなり得なかった。

(ナイジェリア) ナイジェリア政府に対し日本の技術協力の仕組みを説明、今後のプロ・ファイの参考とするためナイジェリアにおける工業団地等を視察した。具体的な案件は見い出せなかった。

(リベリア) リベリア側から要請のできていた「センドジョン川水力開発計画」について事情聴取り帰国後それについて検討した結果、地形図作成を目的とした予備調査団を派遣することになった。(53年2月事前調査団派遣)

(4) コンサルタント名
直島

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿 泊 地	加配地等別		調 査 内 容
				日 数	泊 日	
1	10/8	東京 11:00 JL461 10/18:00	パリ	指	指	移動
2	9	パリ 17:50 AF672 20/17:00	機 中	指	指	
3	10	ダカール 2:10	ダカール	Z	Z	在ダカール日本大使館にて打合せ
4	11	ダカール 8:00 RN500 10/17:50		Z	Z	相手国機関表取
5	12	バマコ	バマコ	Z	Z	全体会議 個別会議
6	13	バマコ				水産協同組合視察
		トングワ	トングワ	Z	Z	※5区、サ区知事以下代表との会議
7	14	トングワ - バマコ	バマコ	Z	Z	自動車整備工場視察 面談大使館訪問 USAICA訪問
8	15	バマコ 8:00 NY203 10/17:00				
		ラゴス 18:40	ラゴス	Z	Z	
9	16	ラゴス 8:00 - カトナ 9:30	カトナ	Z	Z	製油所建設現場訪問
10	17	カトナ 16:55 - ラゴス 18:30		Z	Z	精糖肥料工場訪問 アレコ訪問
11	18	ラゴス	ラゴス	Z	Z	ナイジェリア傘下Kedjal業地訪問
12	19	ラゴス 17:40 0Y706 10/21:20		Z	Z	大使館との打合せ 工業省訪問
13	20	モシヒビア	モシヒビア	Z	Z	外務省他訪問
14	21	モシヒビア BR352	機 中	Z	Z	ホンマイン視察
15	22	バマコ BA976		Z	Z	移動
16	23	東京 7:50		Z	Z	

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	2,299,100	2,234,953
II 現地調査費	612,526	174,873
III 技術費	0	0
IV 報告書作成費	150,000	0
V 附帯費	512,300	167,530
合 計	3,377,926	2,577,356

(ロ) 収支決算

費 用	金 額(円)
概算収入額	3,377,926
支出総額	2,577,356
収支差引額	800,570

(ハ) (イ) の内訳

(単位:円)

区 分	計 画 額 (変更・流用あり場 合はその額)		実 績 額	
	事業団直管分		事業団直管分	
I 調査旅費	2,299,100		2,234,953	
II 現地調査費	612,526		174,873	
III 技術費	0		0	
IV 報告書作成費	150,000		0	
V 附帯費	512,300		167,530	
合 計	3,377,926		2,577,356	

4. 収支決算費目内訳

1 調査旅費

2,234,953 円

No.	氏名 (担当)	招付 (名)	派遣期間 (日数)	① 航空費		② 支度料	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費	合計 (①~⑤)(円)		
				地域	単価(円)		日数	計(円)	地域	単価(円)	日数	計(円)				
1	佐伯嘉彦	2	16日 1/8~1/23	東京-パリ-シカゴ- -ダカール-パリ-	指 乙	0円	指 乙	4700 3300 計	2 14 計	9400 53200 62600	指 乙	14600 11400 計	1 11 計	14600 125400 140000	4975円	1,105,575
2	丹沢嘉夫	5	16日 1/8~1/23		指 乙	53900円	指 乙	4000 3200 計	2 14 計	8000 44800 52800	指 乙	12500 2800 計	1 11 計	12500 107800 120300	2065円	1,127,065
3	佐伯嘉彦	2									差替			828	0円	828
4	丹沢嘉夫	5									差替			1485	0円	1485
計						1,796,000円	53,900円			115,400円				262,613円	7,040円	2,234,953円

II 現地調査費

174,873円

費目	円貨額(円)	米ドル	現地通貨	
			2017年	11%
備入費	21038	17.12	141750	
車輦等借上費	27300			65
資機材購入費	8847		12490	5
会費	19320			46
交換手数料及雑損	23398			
計	159903	17.12	154240	116
円貨	事務用品	8440		
医薬品	6530			
計	14970			
合計	174873			

III 附帯費

167,530円

費目	金額(円)
文通費	2,910
会議費	30,620
その他	34,000
合計	167,530

No. 52-15

計画申請	昭和52年7月1日 国陽(総計)第8-1280号
計画承認	昭和52年8月20日 52通第1023号
担当	資源調査課 氏名 長 畑 貞 之

プロジェクト名 フリピン共和国 カカマンバレイ地帯配電計画調査

卒業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
継続 (2年及び 2回目)	技術調査(現地調査費)	報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	分年度完了

現地調査期間
調査業務完了日
総支出経費

自 昭和52年7月17日
至 昭和52年7月27日
昭和52年9月30日

28,577,135円

<p>(1) 調査目的</p> <p>昭和51年度に実施した現地調査にもとづき国内作業を行い、報告書を作成、フィリピン共和国政府に提出するもの。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>① 報告書の作成(資料解析、需要想定、配電計画、工事計画、経済評価)</p> <p>② 報告書のフィリピン共和国政府への説明。</p> <p>③ 報告書のフィリピン共和国政府への送付</p>	<p>(3) 調査結果</p> <p>報告書を英文、60部、和文60部作成した。計画は1979~82年、1982~84年、1984~90年の3段階に分け開発する方式で立案。電化率を第1段階が33.6%、第2段階50%、第3段階100%とし、第1段階について重点的に予備設計、工事費等の建設実施諸元を検討した。所要工事費は外貨9,385百万円、内貨168百万ペソとなった。</p> <p>又、同時に Magat 水力発電所の運転開始に伴う Santiago - Amambila 間の230KV送電線の増設及び Santige, Solano, Ambuklas の各変電所増設についても早急に建設されるべきものと報告を行った。工事費は外貨1580百万円、内貨1132百万ペソとなった。</p> <p>尚、本プロジェクトは、昭和52年12月104.2億円の円借款が日比政府間で取決められた。</p> <p>(4) コンサルタント名 西日本技術開発(株)</p>
---	---

2. 調査日程

日次	月日	行 程	宿泊地	滞在日数		調 査 内 容
				日当	高泊	
1	7/7	東京 → マニラ	マニラ	2	2	出発
2	18					大気部・NCA、OECFへの説明 NEAとの打合せ
3	19					NPCへの説明 NEAとの打合せ
4	20					NEDAへの説明 NEAとの打合せ
5	21					NEAとの打合せ
6	22					NPCとの打合せ
7	23					資料整理、検討
8	24					
9	25					NEAとの打合せ
10	26					NEA、NPCとの打合せ
11	27	マニラ → 東京				帰国

NEA: National Electrification Administration

NPC: National Power Corporation

NEDA: National Economic and Development Authority

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出 (単位: 円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	424,600	471,176
II 現地調査費	111,702	57,009
III 技術費	25,569,600	25,569,600
IV 報告書作成費	2,375,000	2,375,000
V 附帯費	185,000	124,350
合 計	28,725,902	28,577,135

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	28,725,902
支出総額	28,577,135
収支差引額	148,767

(1) (1) の内訳

(単位: 円)

区 分	計 画 額 (実 績 額 用 意 注 記)		実 績 額	
	事業用直管分	コンサルタント委託分	事業用直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	424,600	0	471,176
II 現地調査費	0	111,702	0	57,009
III 技術費	0	25,569,600	0	25,569,600
IV 報告書作成費	0	2,375,000	0	2,375,000
V 附帯費	185,000	0	124,350	0
合 計	185,000	28,544,902	124,350	28,452,785

コンサルタント名 西日本技術開発(株)

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

471,176 円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 支友料	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①-⑤) (円)	
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数
1	松本 茂 (報告書説明)	1	(注) 8日 7/17~7/24	東京-マニラ 200,352円	0円	マニラ	3,800	8	30,400	マニラ	11,400	7	79,800	国内旅費 66,200円 924円 378,376
2	鍋島 千尋 (ドラフト報告)	2		0円	0円									国内旅費 47,500 47,500
3	平田 季幸 (ドラフト報告)	3		0円	0円									国内旅費 45,300 45,300
計				200,352円	0円	30,400円			79,800円			160,624円	471,176円	

(注) 日当・宿泊料3日分はコンサルタント負担

II 現地調査費

37,009円

費目	円貨額 (円)	現地通貨	
		レ	ソ
外貨 車輦等借上費	8,246	223	
資機材等購入費	6,482	175	30
会議費	22,104	597	73
交換手数料及差損	177	0	
計	37,009	996	92

III 技術費

25,569,600円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分 格付	単価 (人・日) (円)	人・月 (人・日)	金額 (円)
1号	26,800	23日 × 1.1	678,040
2号	25,000	23日 × 5.8	3,335,000
3号	21,600	23日 × 3.2	1,588,760
4号	17,200	23日 × 4.3	1,701,080
5号	13,700	23日 × 3.9	1,228,890
計		18.3	8,532,770

⑤ 現地報告書説明

区分 格付	単価 (人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
1号	26,800	23日 / 3日 × 8日	1	1,643,733
計		8	1	1,643,733

(1) の計 (④ + ⑤) 8,697,143

(2) 雑経費 8,697,143円 × 1.10% = 9,566,857

(3) 技術経費 (8,697,143円 + 9,566,857円) × 40% = 7,305,600

合計 (1) ~ (3) 25,569,600円

IV 報告書作成費

2,375,000円

費目	金額 (円)
報告書原稿作成費	500,000
印刷製本費	1,875,000
合計	2,375,000

V 附帯費

124,350円

費目	金額 (円)
会議費	91,040
その他	33,310
合計	124,350

No. 52-16

地熱資源調査報告書

調査報告書(1)

プロジェクト名 グアテマラ共和国 地熱資源調査計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
継続	技術調査	長期氷道費	報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今月中完了

計画申請	昭和52年7月7日 国協(技計)第7-292号
計画承認	昭和52年8月5日 52通第1056号
担当	資源調査課 氏名 末森 満

現地調査期間

自 昭和52年7月3日
至 昭和52年9月13日

調査業務完了日

昭和52年11月30日

総支出経費

7,352,993円

(1) 調査目的

昭和51年度に実施した現地調査結果及び収集資料に基づき報告書を作成し、グアテマラ共和国政府に対し報告書説明並びに同報告書を送付するものである。

(2) 調査内容

1. 報告書の作成
2. 報告書のグアテマラ共和国政府への説明
3. 報告書のグアテマラ共和国政府への送付

(3) 調査結果

調査対象地域において、地質調査及び地熱探査により断層、割れ目の発達する地質構造、沸水層、不整合面等の水理地質を究明し、貯気探査により、地熱流体に關係の深い低比抵抗の分布状況を把握した結果、次に行われるべき試掘の有望地区として、断層の近くで地表地熱徴候があり、深部まで低比抵抗帯層に相当する緻密な上地層があり、深部に地震探査による背斜構造あるいは地溝帯層などの認められる2地域を選定した上、今後なすべき調査を念めグアテマラ共和国政府に勧告した。

(4) コンサルタント名

大手開発(株)

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	宿 舎		調 査 内 容
				日 宿	月 宿	
1	23	(海辺田長のみ) 東京 JLEC号VSPセルス	ロスタンビル	甲	甲	(山本田長のみ)
2	24	PAS16 ロスタンビル → グアテマラシティ	グアテマラシティ	甲	乙	PAS16 サホセ → グアテマラシティ
3	25			乙	乙	日本大使館表紙 INDE表紙
4	26					INDE Y スケジュール打ち合せ
5	27					INDE入 報告書説明
6	28					
7	29					大使館へ挨拶状
8	30					資料整理
9	31	PAS16 グアテマラシティ → サンフランシスコ	サンフランシスコ	指	指	修 動
10	12	サンフランシスコ JLOC	機 中	指	指	
11	13	東京		乙	指	

3. 調査業務収支決算集約表

(1) 収支決算集約表

(1) 支 出 (単位:円)

区 分	計 画 額	流 用 額	流用後額	実 績 額
I 調査旅費	982,700	10,756	993,456	993,456
II 現地調査費	258,458	10,756	247,702	200,193
III 技術費	3,450,105	0	3,450,105	3,450,105
IV 報告書作成費	2,550,000	0	2,550,000	2,550,000
V 附帯費	190,000	0	190,000	159,239
合 計	7,431,263	0	7,431,263	7,352,993

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	7,431,263
支出総額	7,352,993
収支差引額	78,270

(1) (1)の内訳

(単位:円)

区 分	計 画 額 (流用後)		実 績 額	
	事業団直管分	JICA委託分	事業団直管分	JICA委託分
I 調査旅費	982,700	0	993,456	0
II 現地調査費	258,458	0	200,193	0
III 技術費	833,211	2,616,894	833,211	2,616,894
IV 報告書作成費	0	2,550,000	0	2,550,000
V 附帯費	190,000	0	159,239	0
合 計	2,264,369	5,166,894	2,186,099	5,166,894

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

993,456円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日当			④ 宿泊料			⑤ 振替指費 (円)	合計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地区	単価(円)			日数	計(円)
1	渡辺 憲一 (報告書説明)	特	7/1日 7/3~7/13	東京→グアテマラ 675,400円	0円	指	5,400	2	10,800	指	16,700	1	16,700	10,556円	278,756
						甲	4,700	1	4,700	甲	14,500	1	14,500		
						乙	4,300	8	34,400	乙	13,100	7	91,700		
						計			49,900	計			122,900		
2	山本 正弘 (報告書説明)	3	10日 7/4~7/13	0円	0円	指	4,000	2	8,000	指	12,500	1	12,500	0円	11,470
						乙	3,200	8	25,600	乙	9,800	7	68,600		
						計			33,600	計			81,100		
						計			83,500	計			204,000		
計				675,400円	0円	83,500円			204,000円			10,556円	993,456円		

II 現地調査費

200,193円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		400円	100円
旅人費	42,768	160	
車船等指上費	64,152	240	
通信運搬費	1,229	4.00	
資料等購入費	8,649	32.36	
会議費	81,117	309.47	
交換手数料差戻	2,278		
計	200,193		

III 技術費

(1) 直接人件費

3,450,105円

④ 国内設計作業

区分	単価(人・日)(円)	人・月(人・月)	金額(円)
2号	25,000	23月 × 1.0	575,000
5号	13,700	23月 × 1.0	315,100
計		2.0	890,100

⑤ 現地報告書説明

区分	単価(人・日)(円)	日数(日)	人	金額(円)
3号	40,000	23月 / 20日 × 1.1	1	337,353
計		1.1	1	337,353

(1) の計 (A) + (B)

1,227,433

(2) 諸経費

① 890,100円 × 11.6% = 97,710

② 337,333円 × 9.0% = 30,259

1,282,909

(3) 技術経費

(A) 890,100円 + 97,710円 × 40%

(B) 337,333円 + 30,259円 × 30%

939,963

合計 (1) ~ (3)

3,450,105円

(注) ① → コンサルタント利率

② → 社内対財団 利率

IV 報告書作成費

2,550,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	400,000
印刷製本費	2,150,000
合計	2,550,000

V 附帯費

159,239円

費目	金額
会議費	64,019
その他	95,220
合計	159,239

No. 52-17

計画申請	昭和52年6月29日 国協(設計)第6-767号
計画承認	昭和52年7月12日 52通第1022号
担当	資源調査課 氏名 竹本節生

プロジェクト名 インドネシア共和国 オンセリン石炭開発計画調査事前調査

事業段階	区分経費	事業内容	今後の予定
新規	大規模開発協力基礎調査団 JICA経費	事前調査(第1次)	今回で完了

現地調査期間 自 昭和52年7月17日
至 昭和52年7月30日

調査業務完了日 昭和52年7月30日

総支出経費 5,495,829円

(1) 調査目的

インドネシア共和国政府は、同国スマトラ島のオンセリン炭鉱のリハビリテーションプロジェクトを計画し、その実施のための「リハビリディ」スタディを日本政府へ要請してきた。

これは、3ヶ年度にわたり長期の大型予算に伴うプロジェクトであるので、実施前に現地の受入体制を確認する必要があるためこれを目的とする。

(2) 調査内容

- 本格調査に関する現地受入準備体制の打合せ
- 石炭開発に関する資料の収集

(3) 調査結果

インドネシア側関係者と打合せ、オンセリン炭鉱現地調査の結果、合意議事録を作成、鉱山局外国協力局長 ジャヤティ氏と河合田長と署名をした。その内容は、

- 調査の目的、内容
- JICAの役割
- インドネシア側の役割
 - カウンターパートの指名
 - JICA調査団の調査活動の自由の保証
 - 廃税免除措置
 - 試銓業務に対する必要手続、物品の準備を規定した。
- コンサルタント名
直営(住友石炭鉱業(株)、海外石炭開発(株))

2. 調査日程

日順	月日	行程	宿泊地	滞在日数	調査内容
1	17	移動: 東京 12:55 JL711 18:10 → シヤカルダ	シヤカルダ	2	(移動)
2	18	鉱山省	"	"	鉱山省、石炭公社、地質調査所と 日暮、調査内容打合せ
3	19	石炭公社	"	"	石炭公社スタッフと合意議事録内容打合せ
4	20	石炭公社他	"	"	資料収集
5	21	移動: 07:00 GA200 08:30 シヤカルダ → オンピリン	オンピリン	"	(移動)
6	22	オンピリン炭鉱	"	"	現地調査: 炭鉱内、露天脈
7	23	"	"	"	ボーリング予定位置
8	24	"	"	"	石炭公社と打合せ
9	25	移動: オンピリン 06:45 GA143 11:55 → シヤカルダ	シヤカルダ	"	(移動)
10	26	鉱山省	"	"	合意議事録の内容検討
11	27	"	"	"	"
12	28	石炭公社	"	"	ボーリング機番の受入につき計議
13	29	移動: 17:45 JL712 シヤカルダ → 機中	機中	"	(移動)
14	30	→ 東京 08:55	"	"	"

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(A) 支出

(単位: 円)

区分	計画額	流用額	流用後額	実績額
I 調査旅費	2,736,760	5,165	2,742,125	2,742,125
II 現地調査費	336,130	△ 5,165	330,965	247,823
III 技術費	2,423,496		2,423,496	2,423,495
IV 報告書作成費	0		0	0
V 附帯費	85,000		85,000	82,980
合計	5,581,586	0	5,581,586	5,495,823

(B) 収支決算

費用	金額 (円)
概算受入額	5,581,586
支出総額	5,495,823
収支差引額	85,763

(1) (A) の内訳

(単位: 円)

区分	計画額 (変更・流用あり 場合はその額)	実績額
	事業団直管分	事業団直管分
I 調査旅費	2,742,125	2,742,125
II 現地調査費	330,965	247,823
III 技術費	2,423,496	2,423,495
IV 報告書作成費	0	0
V 附帯費	85,000	82,980
合計	5,581,586	5,495,823

コンサルタント石直管 (庄友石炭鉱業(株)、海外石炭開発(株))

4. 収支決算費目内訳

I 調査旅費

2,742,125円

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 交際料	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)			日数	計(円)
1	河合 崇一 (田 長)	1	14日 7/17~7/30	東京-ジャカルタ-バン 327,800円	39,080円	地域	3,800	14	53,200	地域	11,400	12	136,800	6,573円	563,453
2	八木 左三 (地 負)	2	14日 7/17~7/30	東京-ジャカルタ-バン 327,800円	35,035円	地域	3,800	14	53,200	地域	11,400	12	136,800	7,073円	559,908
3	立野 博昭 (採 鉱)	2	14日 7/17~7/30	東京-ジャカルタ-バン 327,800円	35,035円	地域	3,800	14	53,200	地域	11,400	12	136,800	6,573円	559,408
4	小野 隆 (政 策)	4	14日 7/17~7/30	東京-ジャカルタ-バン 327,800円	33,015円	地域	3,200	14	44,800	地域	9,800	12	117,600	7,673円	530,888
5	竹本 節生 (業務調整)	3	14日 7/17~7/30	東京-ジャカルタ-バン 327,800円	30,975円	地域	3,200	14	44,800	地域	9,800	12	117,600	7,273円	528,468
計				1,639,000円	173,160円	2,492,200円			645,600円			35,165円	2,742,125円		

II. 現地調査費

247,823円

費目	円貨額(円)
外貨 分 車輦等備上費	9,149
資機材等購入費	6,120
会議費	196,698
雑費	12,564
交換手数料及差損	3,788
計	228,317
円貨 分 事務用品	9,826
医薬品	9,680
計	19,506
合計	247,823

III. 技術費

2,423,495円

(1) 直接人件費
現地調査

区分 格付	単価(人日)(円)	日数	人	金額(円)
1(男)	26,800	$\frac{238}{308} \times 14$	1	287,653
2	25,000	$\frac{238}{308} \times 14$	2	535,666
計			3	824,319

(1) の計

824,319

(2) 諸経費 $824,319円 \times 110\% =$

906,750

(3) 技術経費 $(824,319円 + 906,750円) \times 40\% =$

692,426

合計(1)~(3)

2,423,495円

IV. 附帯費

82,380円

費目	金額(円)
会議費	82,380

No. 52-18

計画申請	昭和52年5月27日 国協(做計)第5-1002号
計画承認	昭和52年6月27日 52 通第888号
計画変更承認	昭和53年3月6日 53 通第218号
担当	工業調査課 氏名 小久保 寿一

プロジェクト名 マレーシア国石油産業開発計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
継続			実施調査 報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了
	技術調査団派遣費			

現地調査期間 { 自 昭和52年6月27日
至 昭和52年7月3日

報告書説明期間 { 自 昭和52年11月7日
至 昭和52年11月13日

調査業務完了日 昭和53年3月31日
(当初計画53年2月28日)

総支出経費 96,064,756

1. 調査目的、内容及び結果

<p>(1) 調査目的</p> <p>マレーシア国政府の要請にもとづき、同国石油産業開発のマスタープランを作成するための調査を実施するものであり、51年度のインセプションレポートミッション、サイトサーベイミッション、資料分析ミッションの派遣及び国内作業に引続き、52年度においては中間報告書、最終報告書を作成する。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>マレーシア国における石油及びガスの埋蔵量を評価し、同国における石油及びガスの将来の生産の推移を予測するとともに、油田開発に必要とされる生産施設を提言し今後の開発計画策定に際しての必要事項を調査する。</p>	<p>(3) 調査結果</p> <p>入手した資料にもとづき、マレーシア国の石油、ガス埋蔵量を評価し、また、石油資源開発に利用されている既存の掘削及び生産施設を調査し将来の開発に伴い必要となる生産施設の規模、様式等に関し提言を行なった。</p> <p>(報告書の内容)</p> <p>(イ) 油、ガス田の評価と生産予測</p> <p>油、ガスの原始埋蔵量の計算 相層の推移挙動解析</p> <p>(ロ) 生産施設</p> <p>既存生産施設の評価 施設計画</p> <p>(ハ) コストの算定および経済検討</p> <p>(4) コンサルタント名 日本オイルエンジニアリング(株)</p>
--	--

2. 調査日程

日順	月日	行程	宿泊地	出張別		調査内容
				出張日	出張地	
		(中間報告書説明)				
1	6/27	東京→クアラ Lumpur	クアラ Lumpur	乙	乙	
2	28		"	"	"	中間報告書説明(総括、セントラルコニア地区油田)
3	29		"	"	"	日本大使館報告 (フェアリーバラム、パロニア本島地区油田)
4	30		"	"	"	(サバ、サラワク地区油田)
5	7/1		"	"	"	(総括)
6	2		"	"	"	(総括、経済評価)
7	3	クアラ Lumpur→東京				
		(最終報告書説明)				
1	7/7	東京→クアラ Lumpur	クアラ Lumpur	乙	乙	
2	8		"	"	"	日本大使館、JICA事務所へ説明
3	9		"	"	"	ペトロナスへ最終報告書説明
4	10		"	"	"	"
5	11		"	"	"	"
6	12		"	"	"	"
7	13	畠山、藤田のみ帰国	"	"	"	国内打合せ
8	14		"	"	"	ペトロナスへ最終報告書説明
9	15		"	"	"	日本大使館、JICA事務所へ報告
10	16	クアラ Lumpur→東京				

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支出

(単位:円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	3,927,835	3,814,714
II 現地調査費	198,850	132,692
III 技術費	89,243,337	88,658,337
IV 報告書作成費	2,350,000	2,350,000
V 附帯費	1,357,500	1,109,013
合 計	97,077,522	96,064,756

(2) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	97,077,522
支出総額	96,064,756
収支差引額	1,012,766

(3) (1)の内訳

(単位:円)

区 分	計画額(変更、流用あり場合はその額)		実 績 額	
	事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	1,479,395	2,448,440	1,397,314	2,417,398
II 現地調査費	20,000	178,850	10,565	122,127
III 技術費	3,510,000	85,733,337	2,925,000	85,733,337
IV 報告書作成費	0	2,350,000	0	2,350,000
V 附帯費	1,357,500	0	1,109,013	0
合 計	6,366,395	90,710,627	5,441,892	90,622,862

コンサルタント名 日本オイルエンジニアリング(株)

4 収支決算費目内訳

I. 調査旅費

(中間報告書説明分)

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤)(円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)		日数	計(円)	
1	畠山 勉 (團長・総括)	1	7日 5/27~5/31	東京-フランクフルト 245,000円	0円	Z	3,800	7	26,600		11,400	6	68,400	2,269円	342,269
2	相川 浩之 (中間報告書説明)	3	7日 6/4~6/10	東京- " 245,000円	0円	Z	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	809円	327,009
3	霜田 良夫 (")	3	7日 6/9~6/15	東京- " 245,000円	0円	Z	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	808円	327,008
4	寿島 英志 (")	4	7日 6/9~6/15	東京- " 245,000円	0円	Z	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	808円	327,008
5	小久保 寿一 (中間報告書説明) 業務調整	3	7日 6/9~6/15	東京- " 245,000円	0円	Z	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	3,769円	329,969
小 計 (1~5)				1,225,000円	0円		116,200円			303,600円			8,463円	1,653,263	

(最終報告書説明分)

1	畠山 勉 (総括)	1	7日 11/7~11/13	東京-フランクフルト 245,000円	39,080円	Z	3,800	7	26,600		11,400	6	68,400	749円	379,829
2	相川 浩之 (最終報告書説明)	3	10日 11/7~11/16	東京- " 245,000円	33,015円	Z	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	767円	359,982

国内出張費支出明細表

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	①航空賃	②支度料	③日当			④宿泊料			⑤旅行雑費	合計 (①~⑤)(円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)		日数	計(円)	
3	霜田良夫 (最終報告書説明)	3	10日 "17~"16	東京-アパレル 245,000円	33,015円	乙	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	766円	359,981
4	橋本康正 ()	3	10日 "17~"16	東京-" 245,000円	33,015円	乙	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	0円	359,215
5	舟嶋英志 ()	4	10日 "17~"16	東京-" 245,000円	30,995円	乙	3,200	7	22,400		9,800	6	58,800	0円	357,195
6	藤田賢 (最終報告書説明 及U業務調整)	2	7日 "17~"13	東京-" 245,000円	0円	乙	3,800	7	26,600		11,400	6	68,400	5,249円	345,249
	小計(1~6)			1,470,000円	169,120円				142,800				372,000円	7,531円	2,161,451
	合計			2,695,000円	169,120円				259,000				675,600円	15,994円	3,814,714

II. 現地調査費 132,692円

費目	円貨額(円)	現地通貨	
		マレイシアドル	
外貨分	車輛等借上費	23,683	205
	通信運搬費	6,210	53.25
	会議費	81,369	704.21
	雑費	138	1.20
	交換手数料及差損	10,727	
	計	122,127	964.26
円貨分	事務用品	7,305	
	医薬品	3,260	
	計	10,565	
合計	132,692		

(1) の計 (A) + (B)

26	970	183
----	-----	-----

(2) 諸経費 $26,970,183円 \times 110\% =$

29	667	201
----	-----	-----

(3) 技術経費 $(26,970,183円 + 29,667,201円) \times 40\% =$

22	654	953
----	-----	-----

(4) 所属先補てん $390,000円 \times 7.5月$

2	925	000
---	-----	-----

(5) 計算機使用料

6	441	000
---	-----	-----

合計(1)~(5)

88	658	337
----	-----	-----

IV 報告著作成費 2,350,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	2,350,000

V 附帯費 1,109,013円

費目	金額(円)
交通費	50,720
会議費	243,490
備人費	152,700
国内旅費	49,000
その他	613,103
合計	1,109,013

III 技術費 88,658,337円

④ 国内設計作業

区分	単価(人・日)	人・月	金額
格付	(円)	(人・月)	(円)
1号	26,800	23日×1.3	801,320
2号	25,000	23日×6.2	3,565,000
3号	21,600	23日×17.0	8,445,600
4号	17,200	23日×7.7	3,046,120
5号	13,700	23日×23.1	7,278,810
6号	9,600	23日×13.9	3,069,120
計		69.2	26,205,970

⑤ 現地報告書説明

区分	単価(人・日)	日数	人	金額
格付	(円)	(日)		(円)
3(号)	21,600	$\frac{23日}{30日} \times 35$		579,600
4	17,200	$\frac{23日}{30日} \times 14$		184,613
計				764,213

No. 52 ~ 19

計画申請	昭和52年6月2日 国協(鉦計)第5-1168号
計画承諾	昭和52年7月4日 52通第943号
担当	工業調査課 長内藤久敏

プロジェクト名 スリランカ 合成繊維工場新設計画調査

事業段階	区 分 経 費	事業内容	今後の予定
継 続	1. 技術調査団派遣費	報告書説明 国内設計作業 報告書印刷	今回で完了

報告書説明期間 自 昭和52年10月31日
至 昭和52年11月10日

調査業務完了日 昭和53年3月20日

総支出経費

19,886,790

1. 調査目的、内容及び結果

(1) 調査目的

昭和51年度に実施した、現地調査にもとづき、国内作業を実施し、報告書を作成して、スリ・ランカ共和国政府へ提出するものである。

(2) 調査内容

- 需要予測 ◦ 拡張、新設、合併の有利性の比較検討
- 労働力の調査 ◦ 生産能力の決定と工場の設計
- 新工場の組織 ◦ 原料、コーティリティの入手条件
- 必要投資額の決定
- 財務、経済評価

(3) 調査結果

コロンボ市近傍に65% ポリエステル/35% 綿混紡糸を用いたシャツ地を生産するための紡績、織布、加工の一貫工場（紡績25,056錠、織機612台、加工300万ヤード）を新設する計画はフィージブルであると結論できる。

なお、スリ・ランカ側要請に応じ、基本案のシャツ地生産を減じ、その量をポリエステル/レーヨンのタッサー、ツイル地を生産する代替案を加えた。これは、ECのシャツ地輸入規制に対処するためのものである。

(4) コンサルタント名 (社) 日本フロント協会

2. 調査日程

日順	月日	行 程	宿泊地	指 甲 乙 地 別 日 当 隔 日		調 査 内 容
				甲	乙	
1	10/31	東京発 - コロンボ着	コロンボ	乙	乙	
2	11/1		"	"	"	大坂館表紙、打合せ
3	2		"	"	"	
4	3		"	"	"	
5	4		"	"	"	繊維工業省に対し、報告書説明 及び討議
6	5		"	"	"	
7	6		"	"	"	
8	7		"	"	"	
9	8		"	"	"	大坂館報告
10	9	コロンボ発 - バンコク着	バンコク	"	"	
11	10	バンコク発 - 東京着	—	"	"	

3. 調査業務収支決算総括表

(イ) 収支決算総括表

(1) 支出

(単位：円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	602,900	587,300
II 現地調査費	110,292	20,737
III 技術費	15,896,723	15,834,123
IV 報告書作成費	3,300,000	3,300,000
V 附帯費	175,000	144,630
合 計	20,084,915	19,886,790

(ロ) 収支決算

費 用	金 額 (円)
概算受入額	20,084,915
支出総額	19,886,790
収支差引額	198,125

(ハ) (イ)の内訳

(単位：円)

区 分	計画額(変更、派用ある場合はその額)		実 績 額	
	事業団直管分	コンサルタント委託分	事業団直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	0	602,900	0	587,300
II 現地調査費	0	110,292	0	20,737
III 技術費	0	15,896,723	0	15,834,123
IV 報告書作成費	0	3,300,000	0	3,300,000
V 附帯費	175,000	0	144,630	0
合 計	175,000	19,909,915	144,630	19,742,160

コンサルタント名 (株) 日本プラント協会

4. 収支決算費目内訳

1. 調査旅費 587,300円 期間は11日間であるが9日分だけ支払い、オーバー分の2日はプラ協負担

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	派遣期間 (日数)	① 航空賃	② 支度料	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費	合 計 (①~⑤)(円)		
						地域	単価(円)	日数	計(円)	地域	単価(円)		日数	計(円)	
1	植木茂夫 (報告書説明)	特	9日 10/31~11/8	東京-コロンボ 438,800円	0円	乙	4,300	9	38,700	乙	13,100	8	104,800	5,000円	587,300
				438,800円	0円			38,700円			104,800円		5,000円	587,300	

II 現地調査費 20,737円

費目	円貨額(円)	現地通貨
		Rs
外 車輦等借上費	13,455	748
貨 会 議 費	4,122	229.35
分 交換手数料及差損	3,160	
計	20,737	977.35

(1) の計 (④ + ⑤)

6	208	390
---	-----	-----

(2) 諸経費 $6,208,390円 \times 90\% =$

5	587	551
---	-----	-----

(3) 技術経費 $(6,208,390円 + 5,587,551円) \times 30\% =$

3	538	782
---	-----	-----

(4) 電算機使用料

	499	400
--	-----	-----

合計(1)~(3)

15	834	123
----	-----	-----

IV 報告書作成費 3,300,000円

費目	金額(円)
報告書原稿作成費	900,000
印刷製本費	2,400,000
合計	3,300,000

V 附帯費 144,630円

費目	金額(円)
交通費	7,470
会議費	80,920
その他	56,240
合計	144,630

III 技術費 15,834,123円

(1) 直接人件費

④ 国内設計作業

区分	単価(人・日) (円)	人・月 (人・月)	金額 (円)
特号	40,000	23日×1.7	1,564,000
1号	26,800	23日×3.1	1,910,840
2号	25,000	23日×4.0	2,300,000
5号	13,700	23日×0.5	1,571,550
計			5,932,390

⑤ 現地報告書説明

区分	単価(人・日) (円)	日数 (日)	人	金額 (円)
特号	40,000	23日/30日×9	1	276,000
計				276,000

No. 52 - 20

計画申請	昭和52年7月7日 国協(経計)第7-282号
計画承認	昭和52年7月18日 経通第1054号
担当	資源調査課 長 畑 貞 丈

プロジェクト名 マラウイ共和国又ギヤナ炭田開発計画調査

事業段階	区分	経費	事業内容	今後の予定
新規		技術調査団派遣費	現地調査 報告書説明 国内設計作業 報告書説明	今回で完了

現地調査期間	自昭和52年7月23日 至昭和52年9月16日
報告書説明期間	自昭和53年1月14日 至昭和53年1月27日
調査業務完了日	昭和53年2月28日
総支出経費	47,100,216

1. 調査目的、内容及び結果

<p>(1) 調査目的 マラウイ共和国の要請にもとづき、同国北部に位置する又ギヤナ炭田の開発計画のフィージビリティ調査を行った。マラウイは現在石炭消費量の全量を入力しており、エネルギー政策及び外貨節減の面から本プロジェクトに対する期待は大きいものがある。</p> <p>本件に関しては77年4月26日から5月7日まで事前調査を行っており、この際の確認事項により調査を実施した。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>(イ) 対象地域 又ギヤナ炭田(マラウイ北部)</p> <p>(ロ) 現地調査 トレンテ調査による炭層、炭質の調査を主としたもの。</p> <p>(ハ) 報告書の作成</p>	<p>(ニ) 報告書の現地政府への説明、</p> <p>(ホ) " " への送付、</p> <p>(3) 調査結果</p> <p>トレンテ作業及び収集資料分析の結果</p> <p>(イ) 石炭の品位は 水分7%以下、灰分25%前後、発熱量5,300^{kcal}/kg程度。</p> <p>(ロ) 対象区域の理論埋炭量は1,909千トン、可採埋炭量は1,249千トン、採炭率は65%である。</p> <p>〔今後の諸問題としては〕</p> <p>(イ) インフラ整備並びに技術指導をも含めた経済性の検討を行うこと。</p> <p>(ロ) 南アフリカが51年頃に実施したボーリング結果の分析を行うこと。</p> <p>以上二点について検討、その結果を見て次段階の協力を検討すべきである。</p> <p>(4) コンサルタント名 海外石炭開発(株)</p>
---	--

2. 調査日程

日順	月日	行程	宿泊地	指配地別		調査内容
				日当	高治	
1,2	23,24	東京～セインツビル～ナイロビ	ナイロビ	Z ₂	Z ₁	移動
3	25	ナイロビ～ブランチアイア	ブランチアイア	Z ₁	Z ₁	ナイロビ日本大使館へ報告
4~7	26~29	ブランチアイア～リロング～カロンガ～スギヤナ	リロング スギヤナ	Z ₄	Z ₄	青年協力隊、農業天然資源省 打合せ キャンプサイト決定
8~12	30~3/3	(先発隊) (後発隊) 調査準備 カロンガ～ブランチアイア 東京～ヨハネスブルグ	ブランチアイア ヨハネスブルグ	Z ₅	Z ₅	(先発隊) (後発隊) 調査準備 移動及び調査準備
13,14	4,5	ブランチアイア～カロンガ～スギヤナ	カロンガ スギヤナ	Z ₂	Z ₂	移動
15~18	6~9/5	*	キャンプサイト	Z ₁	Z ₁	現地調査
19~22	10~13	スギヤナ～カロンガ～リロング～ブランチアイア	カロンガ 他	Z ₄	Z ₄	農業天然資源省へ中間報告
23,24	14,15		ブランチアイア	Z ₂	Z ₂	地質調査所に報告 資料整理
25,26	16,17	ブランチアイア～ナイロビ	ナイロビ	Z ₂	Z ₂	日本大使館へ報告
27~29	18~20	ナイロビ～ロンドン～東京	機中	Z ₃	-	移動
		* (反畑滞園行程)				
30,31	21~22	スギヤナ～カロンガ～ブランチアイア	カロンガ 他	Z ₃	Z ₃	農業関係資料入手 青年協力隊へ報告
1	23,24	ブランチアイア～ナイロビ	ナイロビ	Z ₂	Z ₂	JICA事務所、日本大使館へ報告
2	25,26	ナイロビ～フェリツヒ～東京	機中 フェリツヒ	Z ₂	甲 ₁	移動
(報告書説明)						
1~4	1/17	東京～カロンガ～ナイロビ～ブランチアイア	ブランチアイア	Z ₄	Z ₂	日本大使館 JICA事務所、ヨハネスブルグ地質調査所
5~7	18~20	ブランチアイア～リロング	リロング	Z ₃	Z ₃	農業天然資源省へ報告
8	21	リロング～ブランチアイア	ブランチアイア	Z ₁	Z ₁	"
9,10	22,23	ブランチアイア～ナイロビ	ナイロビ	Z ₃	Z ₃	大使館、JICA事務所へ報告
11~14	24~27	ナイロビ～ロンドン～東京	ロンドン	甲 ₁ Z ₂	Z ₁	移動

3. 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(イ) 支出

(単位:円)

区分	計画額	変更 流用}額	変更 流用}額	実績額
I 調査旅費	10,144,660	14,901	10,459,561	10,459,561
II 現地調査費	2,880,547	14,901	2,865,646	1,660,183
III 技術費	32,914,887	143,200	33,058,087	33,058,087
IV 報告書作成費	2,100,000	143,200	1,956,800	1,623,945
V 附帯費	310,000	0	310,000	298,440
合計	48,650,094	0	48,650,094	47,100,216

(ロ) 収支決算

費用	金額(円)
概算受入額	48,650,094
支出総額	47,100,216
収支差引額	1,549,878

(ハ) (イ)の内訳

(単位:円)

区分	計画額(イ, 流用)との差(イ)との差		実績額	
	事業団直轄分	コンサルタント委託分	事業団直轄分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	1,150,833	9,308,728	1,150,833	9,308,728
II 現地調査費	10,000	2,855,646	9,975	1,650,208
III 技術費	0	33,058,087	0	33,058,087
IV 報告書作成費	0	1,956,800	0	1,623,945
V 附帯費	310,000	0	298,440	0
合計	1,470,833	47,179,261	1,459,248	45,640,968

コンサルタント名 海外石炭開発(株)

4. 收支決算費目内訳

I 調査旅費

10,459,561 円

No	氏名 (担当)	招待 (号)	出張期間 (日数)	①航空費	②支度料	③日 当			④宿 泊 料			⑤旅行雑費	合 計 (①~⑤) (円)		
						単価(円)	日数	計(円)	単価(円)	日数	計(円)				
1	青木正行 (総括、地質)	1	56日 1/23-1/16	東京-カロンガ 917,300	0円	甲	3,800×0.9	1	3,420	乙	11,400×0.9	1	10,260	10,251円	1,731,631
						乙	3,800	55	209,000	乙	11,400	51	581,400		
						計	56	212,420	計	52	591,660				
2	清水精二 (採鉱、インテ)	1	56日 1/23-1/16	東京-カロンガ 917,300	45,830円	甲	3,800×0.9	1	3,420	乙	11,400×0.9	1	10,260	9,751円	1,786,961
						乙	3,800	55	209,000	乙	11,400	51	581,400		
						計	56	212,420	計	52	591,660				
3	柴田昌春 (採 鉱)	2	49日 1/30-1/11	東京-カロンガ 881,800円	85,090円	甲	3,800×0.9	1	3,420	乙	11,400×0.9	1	10,260	8,923円	1,684,893
						乙	3,800	48	182,400	乙	11,400	45	513,000		
						計	49	185,820	計	46	523,260				
4	松村 総 (地 質)	4	49日 1/30-1/16	東京-カロンガ 881,800	75,270円	甲	3,200×0.9	1	2,880	乙	9,800×0.9	1	8,820	8,923円	1,572,293
						乙	3,200	48	153,600	乙	9,800	45	441,000		
						計	49	156,480	計	46	449,820				
5	山崎博文 (地質、測量)	5	49日 1/30-1/16	東京-カロンガ 881,000	65,450円	甲	3,200×0.9	1	2,880	乙	9,800×0.9	1	8,820	8,923円	1,562,493
						乙	3,200	48	153,600	乙	9,800	45	441,000		
						計	49	156,480	計	46	449,820				
6	長畑貞之 (炭粉調整)	5	27日 1/23-1/18	東京-カロンガ 817,300	0円	甲	3,500	2	7,000	甲	10,900	1	10,900	10,233円	1,150,833
						乙	3,200	25	80,000	乙	9,800	23	225,400		
						計	27	87,000	計	24	236,300				
小 計 (1~6)				5,297,300円	281,640円	1,010,620			2,842,520			57,004円	9,489,084		
1	青木正行 (現地報告書説明)	1	14日 1/14-1/27	東京-カロンガ 179,700円	0円	甲	4,200	1	4,200					3,177円	970,477
						乙	3,800	13	49,400	乙	11,400	10	114,000		
						計	14	53,600	計	10	114,000				
小 計				179,700円	0円	53,600			114,000			3,177円	970,477		
合 計				6,097,000円	281,640円	1,064,220円			2,956,520円			60,181	10,459,561		

II. 現地調査費

1,660,183 円

区分	項目	円換算(円)	現地通貨	
			72721/27	252107.44
外貨	備入費	203,326		685.04
	車輛等借上費	599,670	80.00	2,348.42
	通信運搬費	235,524		741.22
	資機材等購入費	8,904		30.00
	会議費	52,927		178.33
	雑費	97,802		336.25
	交換手数料及差損	142,155		6.42
計	1,442,308	80.00	4,326.54	
円換	資機材等	207,900		
	事務用品	4,995		
	医薬品	4,980		
	計	217,875		
合計	1,660,183			

III. 技術費

33,058,087 円

(1) 直接人件費

④ 現地調査

区分	単価(人・日)	日数(日)	人	金額(円)
1号	26,800	$\frac{23日}{30日} \times 56$	2	2,301,226
2号	25,000	$\frac{23日}{30日} \times 49$	1	939,166
4号	17,200	$\frac{23日}{30日} \times 49$	1	646,146
5号	13,700	$\frac{23日}{30日} \times 49$	1	514,663
計			5	4,401,201

⑤ 国内設計作業

区分	単価(人・日)	人・月(人・月)	金額
1号	26,800	23日×3.4	2,095,760
2号	25,000	23日×1.7	977,500
3号	17,200	23日×1.7	672,520
4号	13,700	23日×2.7	860,770
計			4,596,550

⑥ 現地報告書説明

区分	単価(人・日)	日数(日)	人	金額(円)
1号	26,800	$\frac{23日}{30日} \times 14$		287,653
計				287,653

(1)の計(④+⑤+⑥)

9,285,404

(2) 諸経費 $9,285,404 円 \times 110\% =$

10,213,944

(3) 技術経費 $(9,285,404 円 + 10,213,944 円) \times 40\% =$

7,799,739

(4) 試料分析費

2,049,000 円

2,049,000

(5) 航空写真図化費

3,710,000 円

3,710,000

合計(1)~(5)

33,058,087 円

IV. 報告書作成費

1,623,945 円

費目	金額(円)
基礎資料処理費	310,235
印刷製本費	1,313,710
合計	1,623,945

V. 附帯費

298,440 円

費目	金額(円)
交通費	2,070
会議費	160,710
その他	135,660
合計	298,440